平成２５年度

防災センター新築工事（建築主体）

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面No.
	H25．2．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所	1級建築士 第145757号 藤井泰徳	防災センター新築工事（建築主体）		
	．．		〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠	表紙		枚の内
			TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	製図 1級建築士 第 号			

図 面 目 録

図面Ｎｏ.	図　面　名　称	図面Ｎｏ.	図　面　名　称	図面Ｎｏ.	図　面　名　称		図　面　名　称
Ａ－０	図面目録	Ａ－35	平面詳細図(5) 3階	Ａ－70	鉄塔詳細図(1)	Ｓ－16	軸組図１(1･2通)
Ａ－１	建築工事仕様書(1)	Ａ－36	平面詳細図(6) 3階・(7) PH階	Ａ－71	鉄塔詳細図(2)	Ｓ－17	軸組図２(3･4通)
Ａ－２	建築工事仕様書(2)	Ａ－37	天井伏図(1階)	Ａ－72	鉄塔詳細図(3)	Ｓ－18	軸組図３(5･6通)
Ａ－３	建築工事仕様書(3)	Ａ－38	天井伏図(2階)	Ａ－73	鉄塔詳細図(4)	Ｓ－19	軸組図４(A通)
Ａ－４	建築工事仕様書(4)	Ａ－39	天井伏図(3階･PH階)	Ａ－74	鉄塔詳細図(5)	Ｓ－20	軸組図５(B通)
Ａ－５	建築工事仕様書(5)	Ａ－40	断熱材伏図	Ａ－75	鉄塔詳細図(6)	Ｓ－21	軸組図６(C通)
Ａ－６	法規チェックリスト(1)	Ａ－41	展開図(1)　1階	Ａ－76	鉄塔詳細図(7)	Ｓ－22	軸組図７(D通)
Ａ－７	法規チェックリスト(2)	Ａ－42	展開図(2)　1階	Ａ－77	駐車場詳細図(1)	Ｓ－23	柱リスト
Ａ－８	付近見取図・敷地配置図	Ａ－43	展開図(3)　1階	Ａ－78	駐車場詳細図(2)	Ｓ－24	梁リスト１・壁リスト
Ａ－９	求積図(1)（敷地求積･面積表）	Ａ－44	展開図(4)　1階	Ａ－79	渡り廊下詳細図	Ｓ－25	梁リスト２
Ａ－10	求積図(2)（建築面積）	Ａ－45	展開図(5)　2階	Ａ－80	昇降機設備図(1)	Ｓ－26	梁リスト３・床リスト
Ａ－11	求積図(3)（1階床面積）	Ａ－46	展開図(6)　2階	Ａ－81	昇降機設備図(2)	Ｓ－27	雑配筋詳細図１
Ａ－12	求積図(4)（2階床面積）	Ａ－47	展開図(7)　2階	Ａ－82	昇降機設備図(3)	Ｓ－28	雑配筋詳細図２
Ａ－13	求積図(5)（3階･PH階床面積）	Ａ－48	展開図(8)　2階	Ａ－83	仮設計画図	Ｓ－29	雑配筋詳細図３
Ａ－14	外部仕上表	Ａ－49	展開図(9)　2階	Ａ－84	既設地中障害物撤去図	Ｓ－30	架構詳細図１
Ａ－15	内部仕上表(1)	Ａ－50	展開図(10) 3階			Ｓ－31	架構詳細図２
Ａ－16	内部仕上表(2)	Ａ－51	展開図(11) 3階			Ｓ－32	1階基礎　ｽﾘｰﾌﾞ・設備開口位置図(1)
Ａ－17	内部仕上表(3)	Ａ－52	展開図(12) 3階			Ｓ－33	1階壁･2階梁　ｽﾘｰﾌﾞ・設備開口位置図(2)
Ａ－18	１階平面図	Ａ－53	展開図(13) 3階			Ｓ－34	2階壁･3階梁　ｽﾘｰﾌﾞ・設備開口位置図(3)
Ａ－19	２階平面図	Ａ－54	展開図(14) 3階･PH階	（構造図）		Ｓ－35	3階壁･R階梁　ｽﾘｰﾌﾞ・設備開口位置図(4)
Ａ－20	３階平面図	Ａ－55	建具KeyPlan (1階)　・法規ﾁｪｯｸ図	Ｓ－１	構造関係共通事項(1)	Ｓ－36	屋上ﾙｰﾊﾞｰ受鉄骨伏図・縦格子ﾙｰﾊﾞｰ断面詳細図
Ａ－21	Ｒ階・ＰＨ階平面図	Ａ－56	建具KeyPlan (2階)　・法規ﾁｪｯｸ図	Ｓ－２	構造関係共通事項(2)	Ｓ－37	鉄骨詳細図
Ａ－22	Ｒ階　縦格子ルーバー詳細図	Ａ－57	建具KeyPlan (3階･PH)・法規ﾁｪｯｸ図	Ｓ－３	構造関係共通事項(3)		
Ａ－23	立面図（北側）	Ａ－58	金属製建具表(1)	Ｓ－４	構造関係共通事項(4)		
Ａ－24	立面図（東側･西側）	Ａ－59	金属製建具表(2)	Ｓ－５	構造関係共通事項(5)		
Ａ－25	立面図（南側）	Ａ－60	金属製建具表(3)	Ｓ－６	構造関係共通事項(6)		
Ａ－26	矩計詳細図(1)	Ａ－61	木製建具表	Ｓ－７	構造関係共通事項(7)		
Ａ－27	矩計詳細図(2)・(3)	Ａ－62	家具類 KeyPlan	Ｓ－８	梁貫通補強仕様書		
Ａ－28	矩計詳細図(4)・(5)・(6)	Ａ－63	家具類詳細図(1)	Ｓ－９	杭伏図･杭配筋図･ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ柱状図		
Ａ－29	矩計詳細図(屋内階段)	Ａ－64	家具類詳細図(2)	Ｓ－10	1階柱壁･基礎伏図		
Ａ－30	矩計詳細図(屋外階段)	Ａ－65	家具類詳細図(3)	Ｓ－11	基礎詳細図		
Ａ－31	平面詳細図(1) 1階	Ａ－66	部分詳細図(1)	Ｓ－12	1階柱壁･2階梁伏図		
Ａ－32	平面詳細図(2) 1階	Ａ－67	部分詳細図(2)	Ｓ－13	2階柱壁･3階梁伏図		
Ａ－33	平面詳細図(3) 2階	Ａ－68	部分詳細図(3)	Ｓ－14	3階柱壁･R階梁伏図　R階柱壁･PH階梁伏図		
Ａ－34	平面詳細図(4) 2階	Ａ－69	部分詳細図(4)	Ｓ－15	R階･PH階 基礎伏図		

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面Ｎｏ.
	H25．2．	フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所	1級建築士 第145757号 藤井泰徳	防災センター新築工事（建築主体）		A－0／84
	．．		〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠	図面目録		枚の内
			TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	製図 1級建築士 第　号			

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工　事　概　要

１．工 事 場 所　　**鳥取県倉吉市福守町415番地の2**

２．敷 地 面 積　　12,616.59 ㎡

３．地 域 地 区　　都市計画地域（ ⊙内 ・外 ）　・市街化調整区域 ⊙非設定

　　用途地域等　（ **工業地域** ）

４．建 物 概 要

（1棟…基準法）

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
1.	庁舎棟(防災ｾﾝﾀｰ)	新築	RC造	3+PH1	504.71	1,372.82
2.	駐車場棟	新築	S造	1	78.35	91.96
3.	渡り廊下棟	新築	ｱﾙﾐ造	1	6.18	0.00

Ⅱ．建築工事仕様

１．共通仕様

（１）　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（２）　請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

（３）　電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

２．特記仕様

（１）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（２）　特記事項は⊙印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は共に適用する。

（３）　項目に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）　G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２２年２月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（５）　標準仕様書で「特記がなければ」、以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）の規定を優先する。

（６）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	1	適用基準等	㊎ 建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）（以下「標準詳細図」という） ㊎ 建築工事監理指針（上巻・下巻）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２２年版） ㊎ 工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編　建設大臣官房官庁営繕部監修 ○ 鉄筋コンクリート構造配筋要領　建設大臣官房官庁営繕部監修(平成１１年度) ○ 鉄骨設計標準図　建設大臣官房官庁営繕部監修(平成９年度) ・
	2	官公庁その他への手続（1. 1. 3）	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする
	3	電気保安技術者（1. 3. 3）	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	4	工事安全計画書（1. 3. 7）	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する
	5	発生材の処理等（1. 3. 8）	・ 引き渡しを要するもの（　　） ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ○ 再生資源化を図るもの ○ コンクリート塊　・　アスファルトコンクリート塊　○ 建設発生木材
	6	環境への配慮（1. 4. 1）	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から５）を満たすものとする １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする ５）１）、３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする ホルムアルデヒド放散量　規制対象外 該当する建築材料 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２９条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ホルムアルデヒド放散量　第三種 該当する建築材料 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥ０品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ品

⑦ 材料の品質等（1. 4. 2）	本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等又は、別表に示す材料・機材等の製造業者等は、次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける （１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （３）安定的な供給が可能であること （４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること （５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （６）販売、保守等の営業体制が整えられていること（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられていること）

別表

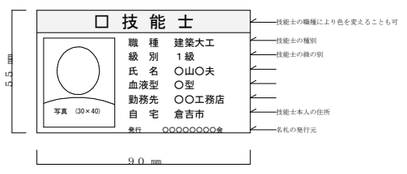
床型枠用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
透水・保水性床タイル及びブロック	可動間仕切
既成調合モルタル	移動間仕切
ルーフドレン	トイレブース
吸水調整材	煙突用成形ライニング材
アルミニウム製建具	天井点検口
鋼製建具	床点検口
鋼製軽量建具	グレーチング
ステンレス製建具	屋上緑化システム
錠前類	トップライト
クローザ類	エポキシ樹脂
自動扉機構	タイル部分張替え用接着剤
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合目地材
軽量シャッター	鋳鉄製ふた

⑧ 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による

⑨ 技能士（1. 5. 2）	下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと （技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者） また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること

工事種目	技能検定種種	技能検定作業
仮設工事	とび	・ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	○ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
	とび	・ とび作業
	塗装	・ 建築塗装作業
コンクリートブロック・ＡＬＣ	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
パネル・押出成形セメント板工事	ＡＬＣパネル施工	・ ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法 ○ 防水工事作業 ・ ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○ 内外装板金作業
	スレート施工	・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	○ 内外装板金作業
左官工事	左官	○ 左官作業
建具工事	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ ガラス工事作業
	自動ドア施工	○ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ プラスチック系床仕上工事作業 ○ カーペット系床仕上作業 （２級及びﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業を含む） ・ ボード仕上工事作業
	表装	・ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶解ペイントマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業
畳工事	畳	・ 畳製作作業

《技能士名札参考図》



⑩ 化学物質の濃度測定（1. 5. 9）	図示した室（内部仕上表）のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するパッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う ・ パラジクロロベンゼン ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする ③測定 イ　②の状態のままで測定する ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること

⑪ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する（各室１箇所以上）

区　分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ(mm)
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工事箇	2部	・ 24× 36以上
※ 完成写真	カラーサービス判	・ 内部 4 箇所	2部	・ 24× 36以上
		・ 外部 4 箇所	2部	・ 24× 36以上
・	カラーキャビネ判	・ 内部　箇所	部	・ 24× 36以上
		・ 外部　箇所	部	・ 24× 36以上
・ パネル	カラー	・ 四ッ切　箇所	2部	・ 100×125以上
		・ 半切　箇所		・ 24× 36以上
		・ 全紙　箇所		
・				

○ 電子データ及びネガの提出［工事記録写真］　（ ○ 要 ・ 不要）
○ 電子データ及びネガの提出［完成写真］　（ ○ 要 ・ 不要）

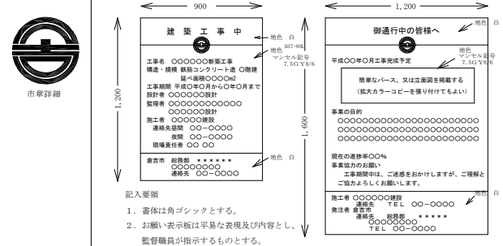
⑫ 完成時の提出図書（1. 7. 1～2）	下記のものを監督職員に提出する（監督員と協議する事） ○ 原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２原図訂正不可）　２部 ○ ＣＡＤデータ　２部 ○ 原図の陽画複写紙の２つ折製本　３部 ○ 原図の縮小版の陽画複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　３部 ・ 複写　縮小版Ａ３バラ綴　部 完成図の種類及び内容 ○ 案内図・配置図・面積表 ： 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（ＢＭの表示） ○ 平面図 ： 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する ○ 立面図 ： 外壁仕上等を表示する ○ 断面図 ： 階高、天井高等を表示する ○ 仕上表 ： 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する ・
⑬ 施工図及び施工計画書（1. 7. 2）	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする
⑭ 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

設備工事との取り合い		建　築	電　気	機　械
○ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※		
	スリーブ・箱入れ		※	※
・ 鉄骨造の開口及び補強		※		
○ 照明器具・斡旋等の吊りボルト用インサート（釘処理共）			※	
○ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			※	
○ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの	仮枠		※	
仮枠及び埋込部分の補強	補強	※		
○ ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※		
○ 埋込型機器取付用の天井	切込		※	※
壁の切込加工、下地の補強	補強	※		
・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び				
ドアクローザ、フロアヒンジ		※		
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※		
・ テレビアンテナ	基礎	※		
	アンカーボルト		※	
○ 天井点検口		※		
○ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置		※	※
	屋上設備	※		
○ 作業足場		※	（共用）	（共用）

⑮ 設計ＧＬ	※ 図示による　・　（　　）
16 耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　Ｖｏ＝　　ｍ／ｓ 地表面粗度区分　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　・ Ⅳ 積雪区分　建設省告示第１４５５号　別表（　　）
⑰ 保全に関する資料（1. 7. 3）	下記のものをＪＩＳ Ａ４版ファイルに製本して監督職員に提出する。 ○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ○ 機器性能試験成績書及び取扱説明書 ○ 保証書 ○ 官公署届出書類（保守に必要とするもの） ○ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書 ・ ・
⑱ 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）
19 環境配慮	鳥取県公共工事環境配慮指針　※ 対象工事　・ 非対象工事
⑳ 建設リサイクル法	※ 対象工事　・ 非対象工事
㉑ 鳥取県福祉のまちづくり条例	※ 対象工事　・ 非対象工事
㉒ ~~鳥取県~~倉吉市景観形成条例	※ 対象工事　・ 非対象工事
23 バリアフリー法	※ 対象工事　・ 非対象工事
㉔ 省エネ法	※ 対象工事　・ 非対象工事

2 仮設工事

① 足場その他（2. 2. 4）	足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年版２．２．４（ｂ）によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと
② 監督職員事務所（2. 3. 1）	※ 設ける　20 ㎡　・ 設けない 備品等は、監督職員の指示を受けて設置すること
③ 表示板	㊎ 工事表示板　　⊙ お願い表示板



市章詳細

記入要領
１．書体は角ゴシックとする。
２．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

④ 工事用水	構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償 ）
⑤ 工事用電力	構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償 ）
⑥ 工事用仮設物	構内への設置　・ できる　○ できない
7 工事現場のイメージアップ	

3 土工事

① 埋戻し及び盛土（3. 2. 3）	埋戻し土　種別　○ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　　表3. 2. 1 ・ 建設汚泥から再生した処理土☒ Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う 盛土　種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 ・ 建設汚泥から再生した処理土☒ Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う
② 建設発生土の処理（3. 2. 5）	※ 構外指示の場所に~~搬出~~搬出 ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積

4 地業工事

① 共通仕様（4. 2. 2）（4. 2. 4）	試験杭　（ 1 ）本　　位置は構造図による 地盤の平板載荷試験　※ 行わない ・ 行う（　　）箇所 位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による 試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による
2 既製コンクリート杭 地業（4. 3. 2~7）	材料 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・ プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）

	符号	杭径(㎜)	杭長（m）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度（N／mm²）	長期設計支持力（ｋN／本）	備考
試験杭			上杭					
			中杭					
			下杭					
本杭			上杭					
			中杭					
			下杭					

ＳＣ杭の鋼管　・ ＳＫＫ４００　・ ＳＫＫ４９０　・ ＳＴＫ４００　・ ＳＴＫ４９０
ＳＣ杭の板厚　※ 構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・ Ⅰ種　・ Ⅱ種　・ Ⅲ種　・ Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする

先端部材形状　※ 開放形　・ 閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策
※ 不要　・ 要（構造図による）
杭の継手　・ 溶接継手
・ 機械式無溶接継手（ ※ 建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う
施工は評定等に記された施工管理基準による
杭頭の処理　※ 切断しない　・
杭頭の中詰材料　※ コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤　※ 構造図による
施工方法
※ 特定埋込み杭工法　・ セメントミルク工法
・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝
を採用できる工法
工法　・ プレボーリング拡大根固め工法　・ 中掘り拡大根固め工法
杭周固定波の使用　・ する　・ しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・ 杭径の１／４かつ１００㎜以下　・
杭の傾斜　・ １／１００　・ 評定条件または認定条件による　・

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面No.
	H25．2．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所	1級建築士 第145757号 藤井泰徳	防災センター新築工事（建築主体）		A－1／84
	．．		〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地	製図	建築工事仕様書(1)		枚の内
平成２４年８月改定版			TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	1級建築士 第325872号 竹中誠			
				製図 1級建築士 第　号			

④ 地業工事

3 鋼杭地業 (4. 4. 2~5)

種類の記号　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・

寸法、継手等

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び厚さ（mm）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	本数	備考
試験杭						
本杭						

杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形　・

先端部の補強　※ 図４．４．１、表４．４．２による　・

施工方法　※ 特定埋込杭工法
・ 中堀り拡大根固め工法　・
・
国土交通省告示第１１１３号第６に定める地盤の許容支持力式の内α、β、ｒが下記の値をとれる工法とする
α＝（　　）、β＝（　　）、ｒ＝（　　）

杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・
杭の傾斜　・１／１００以内　・

試験杭　試験杭の位置　※ 構造図による　・
試験杭の施工　※ 本杭の施工に先立ち行う　・

杭の現場継手　・溶接継手
形状　※ ＪＩＳＡ５５２５による　・
溶接材料　※ ７．２．５(a)(b)による　・７．２．５(a)(b)以外（　　）
溶接部の確認方法　※ ７．６．１０による　・
抜取り率　・全数　・
・無溶接継手
工法　※ 建築基準法による審査を受けた工法　・
検査　※ 建築基準法による審査により定められた項目　・
施工　※ 建築基準法による審査された施工管理基準による　・

杭頭の処理　・処理しない
・処理する
処理方法　※ 構造図による　・
補強方法及び試験、溶接部確認方法　※ 構造図による　・
杭頭の中詰め材料　※ 基礎のコンクリートと同調合のもの　・

④ 場所打ちコンクリート杭地業 (4. 5. 2~6)

施工管理技術者　※ 適用する

杭断面・長期許容支持力

	符号	軸径（mm）	杭長（m）	拡底径（mm）	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭	P1	1200φ	24. 80		1	2, 820	
本杭	P1	1200φ	23. 80		9	2, 820	
〃	P2	1200φ	23. 20		1	2, 820	
〃	P3	1100φ	23. 80		9	2, 370	

材料　表4. 5. 1
コンクリートの種別及び設計基準強度
（　B　）種かつ（　24　）Ｎ／mm²以上
構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し　・行う　・３Ｎ／mm²　・
※ 行わない
気温によるコンクリート強度の補正（Ｔ）　・行う　※ 行わない
セメントの種類　※ 高炉セメントＢ種 G
鉄筋の種類　※ ５章鉄筋工事の鉄筋の種類による
~~鋼管巻きの材料　ＳＫＫ４００　ＳＫＫ４９０　ＳＴＫ４００　ＳＴＫ４９０~~
~~鋼管径・板厚・長さ　※ 構造図による~~

掘削工法　・アースドリル工法（ ※ 安定液使用　・無水掘削 ）
・リバース工法
・ オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない）
~~併用する工法~~　・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法　（ ※ 安定液使用　・　　）
孔壁測定　※ 行う
測定方法　※ 超音波測定器
測定場所　※ 試験杭（　　）箇所及び本杭（　　）箇所
・ 行わない
支持地盤　※ 構造図による
帯筋　※ 構造関係共通事項６．２（ａ）（３）⑥（ロ）による
・ 構造図による
鉄筋かごの補強　※ 構造図による
鉄筋の最小かぶり厚さ　・ １００mm　・

5 直接基礎

支持地盤の設計支持力度　・（　　）ｋＮ／mm²以上
支持地盤　※ 構造図による

⑥ 砂利地業 (4. 6. 2~3)

材料　※ 再生クラッシャラン G　・ 切込み砂利及び切込み砕石
厚さ及び使用範囲

厚さ	使　用　範　囲
※ ６０	基礎・地中梁・構造ｽﾗﾌﾞ・ﾋﾟｯﾄ
・１２０	土間ｽﾗﾌﾞ

⑦ 捨てコンクリート地業 (4. 6. 4)

コンクリートの仕様　※ コンクリート工事無筋コンクリートによる
厚さ及び使用範囲

厚さ	使　用　範　囲
※ ５０	基礎・地中梁・構造ｽﾗﾌﾞ・ﾋﾟｯﾄ

⑧ 床下防湿層 (4. 6. 5)

施工範囲　※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上
防湿層の位置　※ 図示による

9 地盤改良

工法　・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計画、試験は構造図による
・ 深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計画、試験は構造図による

１０ 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状　※ 構造図による
支持地盤の長期設計支持力　・（　　）（ＫＮ／mm²）
支持地盤　※ 構造図による
コンクリートの仕様　※ コンクリート工事　無筋コンクリートによる
型枠使用の有無　・無し　※ 有り

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5. 2. 1)

表5. 2. 1

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（mm）	備考
異形鉄筋（鉄筋コンクリート用棒鋼）	※ ＳＤ２９５Ａ	図示による	※ Ｄ１６以下	
	※ ＳＤ３４５	図示による	※ Ｄ１９以上	

② 溶接金網 (5. 2. 2)

種類の記号	使用箇所	呼び径・寸法・形状（mm）
	屋上防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ	6φ-100×100

③ 圧接完了後の試験 (5. 4. 9)

外観試験　※ 行う（全数）
抜取試験　※ 超音波探傷試験　・ 引張試験

④ 鉄筋の継手 (5. 3. 4)

継手の工法

部位	継手工法と適用径の範囲
・ 柱主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 梁主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ	・ガス圧接（　　）　・重ね継手
・ 土圧壁など	・ 重ね継手（　　）
・ 耐震壁	※ 重ね継手
・ 杭主筋	※ 重ね継手

鉄筋の継手位置　・ 構造関係共通事項による　・ 構造図による
鉄筋の継手長さ　※ ４０ｄと標準仕様書　表５．３．２の重ね継手長さのうち、大きい値とする。
・ ４０ｄ　・

⑤ 基礎梁主筋の継手

・ 構造関係共通事項　図５．２による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ 構造関係共通事項　図５．３による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ 構造関係共通事項　図５．４による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）

⑥ 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4)

※ ４０ｄと標準仕様書　表５．３．４の定着長さのうち大きい値とする
・ ４０ｄ　・

7 耐久性不利な箇所の鉄筋最小かぶり厚さ (5. 3. 5)

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施工箇所	構造関係共通図の値に加える寸法（mm）
・ 柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ち放し面	※ １０　・
・ 塩害の恐れがある部分	・２０　・３０　・ 図示

⑧ 各部配筋

※ 構造関係共通事項による　・

⑨ 帯筋

※ Ｈ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）①Ｈ形による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ Ｗ－Ｉ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）②Ｗ－Ｉ形による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ ＳＰ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）⑤ＳＰ形による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）

⑩ 壁開口部の補強

一般壁　・ Ａ形　構造関係共通事項　表８．３による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
※ Ｂ形　構造関係共通事項　表８．４による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ 構造図による
耐震壁　※ 構造図による

⑪ 梁貫通孔の補強形式

※ Ｈ形　構造関係共通事項　表１１．１による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ Ｍ形　図示による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ ＭＨ形　図示による
（ ※ 全て　・ 構造図による　・　　）
・ 構造図による

⑫ 構造（耐震）スリット

耐震スリットの設置箇所　※ 構造図による　・
方式　※ 完全　・ 部分
形状　※ 構造図による
耐火、遮音、防水処理への配慮
適用箇所　※ 意匠図による　・
仕様　※ 意匠図による　・
耐震スリット部詳細　※ 図示による　・

13 特殊な鉄筋継手

機械式継手
使用箇所　※ 構造図による
性能（Ｈ１２建告第１４６３号に適合するもの）　・ Ａ級　・
機械式継手の種類　・グラウト材必要　・グラウト材不要

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度 (6. 1. 3~4) (6. 2. 1~3)

※ 普通コンクリート

設計基準強度 Ｆｃ（Ｎ／mm²）	気乾単位容積質量（ｔ／m³）	スランプ（cm）	施　工　場　所
・ ２１ ※ ２４ ・	２．３程度	※ １５ ・ １８	建物躯体 （基礎、基礎梁、土間スラブ）
		※ １８	建物躯体 （基礎、基礎梁、土間スラブ以外）
・ １８	２．３程度	※ １５ ・ １８	上記以外

② レディーミクストコンクリート (6. 1. 5) (6. 4. 1~2)

※ Ｉ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」に適合）　表6. 1. 1
・ Ⅱ類

③ セメントの種類 (6. 3. 2)

表6. 3. 1

セメントの種類	施　工　場　所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・ 高炉セメントＢ種 G	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	７日目	３５２Ｊ／ｇ以下
	２８日目	４０２Ｊ／ｇ以下

④ 骨材の種類 (6. 3. 3) (6. 5. 4)

アルカリシリカ反応による区分
※ Ａ
・ Ｂ　（ ※コンクリート中のアルカリ総量　Ｒｔ＝３．０ｋｇ/m³　以下）

⑤ 混和材料 (6. 3. 5)

※ 混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤）
・ 混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種又はⅡ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６に適合する高炉スラグ微粉末又はＪＩＳ　Ａ６２０２に適合する膨張材）

⑥ コンクリートの製造工場の選定 (6. 4. 1~2)

生コンクリート工場を選定する際には、ＪＩＳマーク表示認定工場で、かつ、コンクリート主任技師等の常駐と全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等から選定すること。

⑥ コンクリート工事

7 無筋コンクリート (6. 14. 2~3)

適用箇所　※ 捨てコンクリート、防水層の保護コンクリート
設計基準強度Ｆｃ（Ｎ／mm²）　※ １５または１８
セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・ 高炉セメントＢ種 G

⑧ ひび割れ誘発目地 打継目地 (6. 6. 3) (6. 9. 2~3)

目地寸法　※ ９．６．３（ａ）（１）による　・
間隔　※ 図示による　・
位置　※ 図示による　・
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

⑨ コンクリートの仕上り (6. 2. 5) (6. 6. 6) (6. 9. 3)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　表6. 2. 3

種類	適　用　箇　所
・ Ａ種	
・ Ｂ種	図示による
・ Ｃ種	

⑩ 型枠 (6. 9. 2~4)

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ　※ ２０mm　・意匠図による
せき板の材料　※ 合板
・ 床型枠用鋼製デッキプレート
施工範囲　※ 構造図による　・
スリーブ材　※ 標準仕様書６．９．３（ｉ）（２）　・ 図示
コンクリートの打増し厚さ　※ １０mm　・図示による
断熱材兼用型枠
・ 使用する　※ ２５mm以下かつ熱抵抗値１ｍ･℃／ｋＣａｌ以上
・
・ 使用しない
メッシュ型枠
・ 使用する
使用部位　図示による
※ 使用しない

⑪ コンクリートの単位水量測定

・ 行わない
・ 行う
実施要領　・ 構造図による
※ 構造関係共通事項による

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場 (7. 1. 3)

製作工場の加工能力
※ 建築基準法第７７条の５６第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び、（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（・Ｊ・Ｒ・M　・Ｈ・S）グレード」としてとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場　（通信鉄塔工事）
・ 監督職員の承認する製作工場　（通信鉄塔工事以外）

② 施工管理技術者 (7. 1. 3~4) (7. 6. 2) (7. 12. 2)

※ 適用する　・ 適用しない

※以降の適用は、通信鉄塔工事以外の鉄骨工事を対象とし、
通信鉄塔工事については別図「鉄塔詳細図（1）～（7）」による。

③ 鋼材 (7. 2. 1)

鋼材の材質　表7. 2. 1

種類の記号	使　用　箇　所	規格等
SS400	胴縁その他受材	※ ＪＩＳ規格による
STKR400	柱	※ ＪＩＳ規格による
		※ ＪＩＳ規格による
		※ ＪＩＳ規格による

4 高力ボルト (7. 2. 2) (7. 4. 2)

区分
※ トルシア形高力ボルト　２種（Ｓ１０Ｔ）建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ ＪＩＳ形高力ボルト　２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径　※ 構造図による
すべり係数試験　※ 行わない　・ 行う

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)

セットの種類
※ １種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
摩擦面の処理
※ ブラスト処理（表面粗度５０μmＲｚ以上）
・ りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法　※ 構造図による

⑥ 普通ボルト (7. 2. 3)

ボルト及びナットの材料等　※ 表７．２．３による
ボルトの径　・図示による
座金　※ 表７．２．３（ｄ）による

⑦ アンカーボルト (7. 2. 4) (7. 10. 3)

材質
・ 構造用　・ ＳＮＲ４００Ｂ　・ ＳＮＲ４９０Ｂ
・ 建方用　・ ＳＳ４００　・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げ
・ 構造用　※ ＪＳＳⅡ－１３－２００４「（社）日本鋼構造協会規格／建築構造用転造ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」
・
・ 建方用　※ 普通ボルトによる
・
保持及び埋込み工法　表7. 10. 1
・ 構造用　※ 構造図による
・ 建方用　・ 表７．１０．１　（ ・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種 ）による

8 ターンバックル (7. 2. 6)

種類
建築用ターンバックル胴　※ 割枠式　・
建築用ターンバックルボルト　※ 羽子板ボルト　・
ボルトの呼び　※ 構造図による　・
ボルトの材質　・ Ｆ１０Ｔ　※ Ｆ８Ｔ

9 デッキプレート (7. 2. 7)

材質、形状及び寸法　※ 構造図による

10 スタッドボルト

※ 頭付スタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ　（呼び長さ）　mm	使　用　箇　所
16φ	・８０　・１００　・１２０	
19φ	・８０　・１００　・１３０　・１５０	
22φ	・８０　・１００　・１３０　・１５０	

⑪ 柱底均しモルタル (7. 2. 9) (7. 10. 3)

モルタルの種別
※ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
※ ７．２．９（ｂ）（１）～（３）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法
※ 表７．２．６による

⑦ 鉄骨工事

工法の種別

※ 表７．１０．２（ ※ Ａ種［モルタル厚さ５０］　・ Ｂ種［モルタル厚さ３０］）による
・ 図示による

⑫ 仮組 (7. 3. 10)

※ 行わない　・ 行う

13 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質　※ ＳＳ４００とする

⑭ 溶接接合 (7. 6. 4) (7. 6. 7)

開先の形状　※ 構造関係共通事項（５）３．溶接継手の種類別開先規準による
・ 構造図による
スカラップの形状　※ 構造関係共通事項（６）５．鉄骨溶接施工（３）による
・ 構造図による
鋼製エンドタブの切除する部分　※ 全て　・（　　）
完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※ （社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による
エンドタブ・裏あて金　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする

⑮ 入熱パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
※ 構造関係共通事項による　・ 図示
適用箇所
※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・ 図示による

16 溶接部の試験 (7. 6. 11)

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　表7. 6. 2~4
※ 行う　・ 行わない
工場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・ ２．５％

節	※ 全て					
検査水準	※ 第６水準					

工事現場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・ ２．５％
割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
独立行政法人建築研究所監修
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・ 抜き取り検査１　※ 抜き取り検査２

17 耐火被覆 (7. 9. 2~7)

種別

種別	材料・工法	適　用　箇　所（部位・部分）
・ 耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・ 耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
・ 耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール	
・ ラス張りモルタル塗り	－	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適　用　箇　所（部位・部分）

18 建方精度 (7. 10. 2)

※ （社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］
付表［工事現場］による

19 錆止め塗装 (7. 8. 1~4)

塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
※ １８．３．２　表１８．３．２のＡ種　・
・ ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・
耐火被覆材の接着する面への塗装
・ 行う
適用箇所　※ 構造図による　・
塗装の種別　※ 構造図による　・
※ 行わない

20 溶融亜鉛めっき工法 (7. 12. 1~6)

※ 第７章１２節による

⑧ コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

① コンクリートブロック (8. 2. 2) (8. 2. 5) (8. 3. 2)

表8. 3. 1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック１６　・ 空洞ブロックＷ－１６
衛生配管用裏積みブロック	※ 空洞ブロック０８　・ 空洞ブロック１６

厚さ　図示による

② ＡＬＣパネル (8. 4. 2~5)

表8. 4. 2~4

種別	厚さ（mm）	単位荷重（Ｎ／mm²）	耐火性能	工法種別
・ 外壁用	※ １００　・			・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種
・ 間仕切用	１００			・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・ 屋根用	※ １００　・		・３０分	・Ｆ種
・ 床用	・１００　・１５０		・６０分 ・１２０分	・Ｆ種

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の
目地幅（mm）　※ ２０　・
伸縮目地への耐火目地材の充填　・ 適用する

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8. 5. 2~4)

表8. 5. 1~2

	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能	取付工法の種別
・ 外壁	※ フラットパネル	・５０　・６０		・Ａ種　・Ｂ種
	・ デザインパネル（図示）	・５０　・６０		
・ 間仕切壁	※ フラットパネル	・５０　・６０		・Ｂ種　・Ｃ種
	・ デザインパネル（図示）	・５０　・６０		

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

附記

平成２４年８月改定版

設計年月日　Ｈ２５．２．　・　・

共同企業体名称
フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体

代表者
㈲フジイ総合設計事務所
〒682-0802　鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地
TEL 0858 (24) 6688　FAX 0858 (24) 6689

管理建築士　１級建築士　第145757号　藤井泰徳
製図　１級建築士　第325872号　竹中誠
製図　１級建築士　第　　号

名称　防災センター新築工事（建築主体）
建築工事仕様書(2)

SCALE

図面Ｎo.　A－2／84　枚の内

⑨ 防水工事

① アスファルト防水 (9．2．2~5)

アスファルトの種類　３種
防水層の下地のモルタル塗り　・　適用する（施工範囲　・　図示　・　　）

屋根保護防水　表9．2．3~6

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
⊙ Ａ－１	R階陸屋根(平場)		※ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ(GA) 厚さ　0．15mm以上 ・	※　乾式保護材 ・　ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・ Ａ－２				
・ Ｂ－１				
・ Ｂ－２				
・ ＡＩ－１		※ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ３種ｂスキン層付 厚さ ※ 25㎜ ・ 50 ・	※　ﾌﾗｯﾄｰﾔｰﾝｸﾛｽ 70ｇ／㎡程度 ・	
・ ＡＩ－２				
・ ＢＩ－１				
・ ＢＩ－２				

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること

屋根保護防水断熱工法の断熱材（オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること） G
　材質　※　押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付（ＪＩＳ　Ａ９５１１）
　厚さ　※　２５㎜　・
防水立上がり部の保護
　※　乾式保護材
　　無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
　　品質・性能等
　　寸法の許容差　厚さ：－５～＋１０%、幅：±１%
　　曲げ強さ、　曲げモーメント（Ｎ・㎝）（スパン５０㎝における単位幅１㎝あたりの曲げモーメント）標準時４５０以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）３２０以上（２００）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
　　吸水性　　（２０%以下）　吸水による長さ変化率（０．０７%以下）
　　耐火性能　不燃
　　耐衝撃性　　高さ１．０mから試験体の弱点部に５００ｇのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
　　出荷時の含水率　　１０%以下
　・　れんが

屋根露出防水　表9．2．7

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ Ｄ－１		⊙ Ｄ－２	R階陸屋根立上(箱樋除く)

屋内防水密着工法　表9．2．8

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ Ｅ－１		・ Ｅ－２	

保護層　・　設ける（図示）

② 改質アスファルトシート防水 (9．3．2~3)

表9．3．1

工程による種別	施工箇所	改質アスファルトシート 種別		厚さ（mm）
・ ＡＳ－１		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※２．５mm以上 ・
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※３．０mm以上 ・
・ ＡＳ－２		※露出単層防水用Ｒ種 ・		※４．０mm以上 ・

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9．4．2~3)

防水層の種類　表9．4．1

種別	施工箇所	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	絶縁用シートの材種	仕上塗料
・ Ｓ－Ｆ１		※ １．２ ・		・ カラー ※ シルバー
・ Ｓ－Ｆ２		※ ２．０ ・		
・ Ｓ－Ｍ１		※ １．５ ・	※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	・ カラー ※ シルバー
・ Ｓ－Ｍ２		※ １．５ ・		
・ Ｓ－Ｍ３		※ １．２ ・	※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対した工法を施工計画書として提出する

④ 塗膜防水 (9．5．3)

防水層の種類　表9．5．1~2

種別	施工箇所	備考
・ Ｘ－１		仕上げ塗料塗り　・ カラー
⊙ Ｘ－２	基礎天端・EPS屋根・RC庇・ﾍﾟﾗﾝﾀﾞ	※ シルバー
・ Ｙ－１	※　地下外壁防水	
・ Ｙ－２	※　屋内防水	Ｙ－２の保護層　・ 設ける

⑤ 脱気装置

防水種別	脱気装置の種類	材質	設置数量
Ｄ－１ Ｄ－２	※　製造所の仕様による ・	※　製造所の仕様による ・	※　製造所の仕様による ・
Ｘ－１	・　平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ ＡＢＳ樹脂 ・ ステンレス ・ 鋳鉄 ・	（　　）個／㎡
	・　立上り部脱気型	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅 ・	（　　）個／㎡

⑥ シーリング用材料 (9．6．2)

種類及び施工箇所（図示以外は（表９．６．１）による）
シーリング面への仕上塗材仕上げ等　※　行わない　⊙ 行う

⑦ シーリング材の試験 (9．6．5)

接着性試験
⊙ 行う（　※　簡易接着性試験　・　引張接着性試験　）
・　行わない（試験成績書がある場合）

10 石工事

① 石材 (10．2．1)

種類　※　天然石　・　人工石
品質　※　１等品（床以外）　※　２等品（床）
形状、寸法及び厚さ　※　図示による
石材の種類及び表面仕上げ　表10．2．1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

② 取付け金物 (10．2．2)

乾式工法用金物の種類　・　スライド方式　・　ロッキング方式　表10．2．4

③ その他の材料 (10．2．3)

・　石裏面処理材　（　　）
・　裏打ち処理材　（　　）
・　ドレンパイプの材質　（　　）
・　金物固定充填材料　（　　）

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 (11．1．3)

外壁　※　図示による　・　表１１．１．１による　・　耐震スリット部

② 材料 (11．2．1)

タイルの形状、寸法等

主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	吸水率による区分 II類	吸水率による区分 III類	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	釉 有	釉 なし	色 標準	色 特注	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	備考
外装床	100×100	⊙	⊙	・	・	・	⊙	・	⊙	・	・	⊙	・	ｶﾞｰﾃﾞﾝ 風除室
外装床	誘導・注意喚起用 300×300	⊙	⊙	・	・	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	ｶﾞｰﾃﾞﾝ 風除室
外装床	垂付段鼻 100×100	⊙	⊙	・	・	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	外部階段
内装床	汚垂れ石 900×600	・	・	⊙	・	⊙	・	・	・	⊙	・	⊙	・	男子WC

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

タイルの試験張り　※　行わない　・　行う（　　）
タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う（　　）
有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

③ 外部陶磁器質タイル後張り (6．9．3)（11．3．3）

施工箇所　※　庁舎外壁（ホールを含む）　⊙ 図示による
適用タイル　・　小口タイル　・　二丁掛タイル　⊙ 上記表(11.2)による
躯体表面処理　※　２階以上を行う　⊙ 行わない
　躯体表面処理工法の種類
　※　目荒し工法
　　高圧水洗による目荒しは、５０Ｍｐａ以上の水圧で２．５分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける
　　施工箇所の躯体打増しは、図示による
　・　ＭＣＲ工法
　　ＭＣＲ工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
　　施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
　ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．２，３（ｄ）による
工法　※　密着張り　⊙ 改良圧着張り　・　改良積上張り　・　モザイクタイル張り　表11．3．2

④ 内部陶磁器質タイル後張り (11．3．3)

施工箇所　※　便所等　・　図示による
適用タイル　・　内装陶器質タイル　・　５０角モザイクタイル　⊙ 上記表(11.2)による
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
　ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．２，３（ｄ）による
工法　※　壁タイル接着剤張り　・　改良積上げ張り　⊙ 圧着張り　表11．3．2

12 木工事

① 表面仕上げ (12．1．4)

・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種

② 木材 K (12．2．1)

代用樹種を使用できない箇所（ 県産材使用箇所 ）
保存処理木材　・　使用する（使用箇所　　）
間伐材等　・　使用する（使用箇所　　）
現場搬入時の木材の含水率　※　Ａ種　・　Ｂ種
造作材の材面の品質の基準　※　Ａ種　・　Ｂ種
構造材及び下地材の品質の基準　※　標準仕様書12.2.1（ｂ）（3）による
樹種
※図示による［ 代用樹種の使用 ：※　認めない　・　認める（監督職員と協議要）］
※木材のうち、杉、栓及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。

③ 集成材 K (12．2．2)

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種
・　構造用集成材

施工箇所	強度等級	材面の品質	使用環境	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
		・１種 ※２種 ・３種	・１ ・２			・
						・
						・

・　構造用単板積層材

施工箇所	区分	使用環境	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・特級 ・１級 ・２級	・１ ・２					・
							・
							・

⊙ 造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
階段笠木・踊場梁面台・飾棚	※ １等 ・ ２等	杉（県産材）	図示	・
				・
				・

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※１等 ・２等					・
						・
						・

・　単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・ 塗装加工 ・ 加工しない（・１等 ・２等 ・３等）	・ する ・ しない		・ ・

⑫ 木工事

④ 床張り用合板及びその他の合板 G (12．2．3)（19．7．2）

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種　表15．5．1

⊙ 普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）					・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理	・
~~(1E)~~ 図示	~~ａ．ｏ~~ 図示	※ １種 ・ ２種	ﾗﾜﾝ	広葉樹 ・ １等 ※ ２等 針葉樹 ※ Ｃ－Ｄ	・ する ・ しない	・	・
							・

⊙ 構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	等級	有効断面係数化	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	間伐材等の適用
~~(1E)~~ 図示	１２．０	⊙ 特類 ※ １類	・ １級 ※ ２級			※ Ｃ－Ｄ ・	・ する ・ しない	・
								・
								・

・天然木化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	化粧板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ ４．２ ・ ３．２ ・ ６．０	・ １類 ・ ２類	・ なら ・ しおじ	・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
						・

・特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	加工面	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ ４．０ ・	・ １類 ・ ２類	・ Ｆ ・ ＦＷ ・ Ｗ ・ ＳＷ	・ 表面 ・ 両面		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
								・

⑤ 接着剤 (12．2．6)

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※　規制対象外　・　第三種

⑥ 防腐、防蟻処理 (12．2．8~9)

防腐処理　・　行う
防蟻処理　・　行う（施工範囲　※　図示　・　　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
　表面処理用木材保存（防腐・防蟻処理）剤はクロルピリホスを含有しない薬剤とし、監督職員の承諾するものとする

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 (13．2．2~3)

長尺金属板の種類　表13．2．1
　※　塗装溶融５５%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＬＣＣＲ－２０－ＡＺ１５０）
　・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＣＣＲ－２０－Ｚ２２５）
　・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（Ａ種、ＳＧ）
　・　塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＺＡＣＣＲ－２０）

長尺金属板の厚さ（㎜）
　一般部　・ ０．３　・ ０．３５　※ ０．４　谷部　・ ０．３　※ ０．４
屋根葺き形式　・ 横葺　・ 芯木なし瓦棒葺　・ 立平葺　・ あり掛葺
屋根葺き工法を定める専門工事業者　※　監督職員の承諾する業者
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

② 折板葺 （駐車場棟） (13．3．2)

形式　※　重ね形又ははぜ締め形　・　かん合形　表13．2．1
　山高　88 ㎜　山ピッチ　200 ㎜
耐力　※
厚さ　※　０．８㎜　・　０．６㎜
材料　※　塗装溶融５５%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＬＣＣＲ－２０－ＡＺ１５０）
　・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＣＣＲ－２０－Ｚ２２５）
　・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（ＳＧ　Ａ種）
　・　塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＺＡＣＣＲ－２０）
軒先面戸板　・　適用する
ペア張り　・　適用する（ｔ＝　　mm）［　・　不燃材　・　３０分耐火］
　⊙ 適用しない
変形防止材　・　鉄鋼製　・　ステンレス製
鉄鋼製の表面処理の上塗り　・　行う（　　）　⊙ 行わない
表面処理の上塗り　・　行う　⊙ 行わない
耐火性能　・　３０分　⊙ なし
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

③ 粘土瓦葺 (13．4．2~3)

材料　：　※　JIS A 5208 及び図示による　産地［　　］産
下葺材料
　※　アスファルトルーフィング９４０　（ JIS A 6005 ）
　・
桟木　樹種　：　※　杉　※　桧　・
　寸法　：　※　21(w)×15(h)以上　・
補強用芯材　樹種　：　※　杉　※　桧　・
　寸法　：　※　40(w)×30(h)以上　・
棟の工法　※　図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

④ とい (13．5．2~3)

材料　※　配管用鋼管　（ｶﾗｰ）　表13．5．1
　⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）［ ※ ＲＦＶＰ G ⊙ ＶＰ ］
　・　ステンレス管
鋼管製といの防露　※　行う（表１３．５．４）　・　行わない
　ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量
　※　規制対象外　・　第三種
とい受け金物　※　市販品　・　表１３．５．２
飾り鉢
ルーフドレイン　※　市販品　・　設けない

⑤ 鋼管製といの防露巻工法部等の処理 (13．5．3)

防露部　ステンレス（ＳＵＳ３０４、厚さ０．２㎜）で被覆する　表13．5．4
　高さ（㎜）　床　※　１５０　・
　天井　※　３０　・
防露を行わない場合　ステンレス製シーリングプレートを取付ける（床、天井共）

⑭ 金属工事

① あと施工アンカー (14．1．3)

引抜き耐力の確認試験　※　機械的簡易引抜試験機による引張試験　⊙ 行わない
設計用引張強度［　　］　・

② ステンレスの表面仕上げ (14．2．1)

※　ＨＬ仕上げ　・　鏡面仕上げ　・
施工箇所［ 図示 ］

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14．2．2)

表14．2．1

種別	施工箇所	種別	施工箇所
Ｂ－１種	化粧ﾎﾟｰﾀﾞｰ（笠木）・目隠しﾙｰﾊﾞｰ		
Ｂ－２種			
Ｃ－１種			

他の項目に特記されたものを除く

④ 鉄鋼の亜鉛めっき (14．2．3)

表14．2．2

種別	施工箇所	種別	施工箇所
Ａ種			
Ｃ種			

他の項目に特記されたものを除く

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (14．4．2~4)

野縁等の種類　屋外　※　２５型　・
　屋内　※　１９型　・　２５型
屋外の軒天井、ピロティ天井等
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
天井下地における耐震性を考慮した補強
　※　１４．４．４（ｈ）による
　・　天井のふところが３ｍを超える場合　　補強箇所　※　図示
　　補強方法　※　図示

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14．5．2~4)

スタッド、ランナー等の種類　表14．5．1
　・　５０形　⊙ ６５形　・　７５形　・　９０形　・　１００形

表14．2．1

⑦ 金属成形板張り (14．6．2~3)

種別	※　アルミスパンドレル　・
製法	※　押出し　・　ロール
寸法（㎜）	板幅 板厚
表面処理	・　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種
伸縮継手	・　設ける（図示による）　※　設けない
形状	・　図示による　・

⑧ アルミニウム製笠木 (14．7．2~3)

※　押出し形材　表14．7．1
　部材の種類　⊙ ２５０形（呼称肉厚は１．６以上）
　・　３００形（呼称肉厚は１．８以上）
　・　３５０形（呼称肉厚は２．０以上）
　表面処理　※　Ａ－１種又はＢ－１種　・
　隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
・　曲げ材
　材質　ＪＩＳ　Ｈ４０００による
　表面処理　※　Ａ－１種又はＢ－１種　・
　厚さ（㎜）　・　２．０　形状は図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する

⑨ 手すり (14．8．2)

材料の種別　※　配管用鋼管　・　ステンレスＳＵＳ３０４（　※　ＨＬ　・　　）
亜鉛めっき　・　行う（　※　Ｃ種　・　　）　・　行わない
⊙図示による（既製品）

⑩ タラップ (14．8．3)

材料の種別　※　ステンレス（ＳＵＳ３０４）　・　鋼製

⑪ サッシ取合い間仕切板

※　アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・　鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Ｚ１２又はＦ１２）

12 エキスパンション ジョイント金物

材質	※　アルミニウム製
表面処理	※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種
クリアランス	※　５０　・　１００　・　１５０
耐火性能	・　図示による

⑮ 左官工事

① 防水材料 (15．2．2)(15．3．2)(15．7．2)

屋内の壁及び天井の仕上材は、不燃材料又は、建築基準法に基づく基材同等の認定を受けたものとする。
複層仕上塗材を内装不燃箇所に使用する場合は、ＣＥ又はＳｉとするか、基材同等の認定を受けた内装甲とする。

② 吸水調整材 (15．2．2)

※　表１５．２．２による　表15．2．2

③ 防水剤 (15．2．2)

品質・性能等
　防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする
　膨張性のひび割れおよびそりがないこと（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定９）
　混合割合　　セメント重量の５%以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　吸水比　　９５%以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　透水比　　８０%以下（水圧は２９４ｋＰａとし、１時間行う）
　凍結時間　　始発１時間以上、終結１０時間以内（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定８）
　曲げ及び圧縮強度比　　７０%以上（ＪＩＳ　Ａ１４０４）

④ 既製目地材 (15．2．2)

・　使用する（形状　　）

⑤ セルフレベリング材塗り (15．4．2~3)

表15．4．1

種類	厚さ（㎜）	施工箇所
※ セメント系	~~※ １０~~	⊙図示による（厚さ共）
・ せっこう系	・ １０	

⑥ 床コンクリート直均し仕上 (15．3．2~3)

下表以外は表６．２．４及び１５．３．２による　表6．2．4

施工箇所	平坦さ（mm）	備考
フリーアクセスフロア（パネル工法）範囲	１mにつき１０以下	
フリーアクセスフロア（溝工法）範囲	３mにつき　７以下	

⑦ 仕上げ塗材仕上げ (15．5．2)

薄付け仕上塗材　表15．5．1~2

種類	仕上げの形状	工法
⊙ 外装薄塗材Ｅ	⊙ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	吹付け

・　厚付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	・ 行う ・ 行わない

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳	名称	SCALE	図面No.
	H25．2．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠	防災センター新築工事（建築主体）		A－3／84 枚の内
平成２４年８月改定版	．．			製図 1級建築士 第　号	建築工事仕様書(3)		

15 左官工事

⑦ 仕上げ塗材仕上げ (15．5．2)

・ 複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性 耐候形3種）		
※ 複層塗材E	※ 凹凸模様	吹付け	※ 水系	※ アクリル系	※ つやあり
・ 可とう形複層塗材E	○ 凹凸模様	吹付け	○ 水系	○ アクリル系	○ つやあり
	・ 凸部処理	ローラー	・ 溶剤系	・ ポリウレタン系	・ つやなし
・ 複層塗材Si	・ ゆず肌状		・ 弱溶剤系	・ アクリルシリコン系	・ メタリック
・ 複層塗材CE				・ フッ素系	
・ 複層塗材RE				・ シリカ系	
・ 複層塗材RS					
・ 防水形複層塗材CE					
○ 防水形複層塗材E					
・ 防水形複層塗材RS					
・ 防水形複層塗材RE					

・ 軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・ 吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・ こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定 ※ 屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

8 ロックウール吹付け (15．7．1~4)

厚さ(mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 30 ・
ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

16 建具工事

① アルミニウム製建具 (16．2．2~4)

※ 製造所 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿に記載されている製造所
外部に面する建具の性能等級等 （引違い） （排煙窓・Fix等）

種別	※ A種	○ B種	・ C種
耐風圧性	※ S－4	○ S－5	・ S－6
気密性	※ A－3		・ A－4
水密性	※ W－4 ・ W－5		・ W－5
枠見込み (mm)	○ 70 ・ 100		・ 100
表面処理	※ B－1種 ・ B－2種 （・ アンバー ・ ブロンズ ・ ステンカラー ・ ブラック）		

防音ドアセット・ 防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☑ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・
網戸等

種類	材種	線径	網目
○ 防虫網	・ 合成樹脂製 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS316）	0．25mm以上	16～18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス製（SUS304）線材	1．5mm	網目寸法 ピッチ15mm

外部に面する建具以外の表面処理 C－1種又はB－1種

② 鋼製建具 (16．3．2)

外部に面する建具の耐風圧性の等級 ○ S－4 ・ S－5 ・ S－6
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☑ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・
防火戸 煙感知器連動とする 防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

③ 鋼製軽量建具 (16．4．3)

外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S－4 ・ S－5 ・ S－6
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☑ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・
防火戸 煙感知器連動とする 防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板
※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板 表16．4．1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※ 鋼板 ・ ステンレス ・ アルミニウム
屋の表面材、押縁	※ 鋼板 ・ ビニル被覆鋼板
枠類	※ 鋼板（くつずりはステンレス） ・ 製作所仕様

④ ステンレス製建具 (16．5．3)

外部に面する建具の耐風圧性 ○ S－4 ・ S－5 ・ S－6 ・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☑ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・
ステンレス鋼板（屋外） ・ SUS430J1L ・ SUS304
ステンレス鋼板（屋内） ※ SUS430 ・ SUS430J1L ・ SUS304
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（ ・ a角 ・ b角 ・ c角 ）

⑤ 木製建具 (16．6．2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種
ふすまの材料 種別 ※ 表16．6．3のⅡ型
上張り紙 ※ ビニル紙 ・ 新鳥の子
押入等の裏側 ※ 雲花紙
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装）
枠及びくつずり材料 ※ 図示による

⑥ 鍵 (16．7．4)

マスターキー ○ 製作する（ 3 組） ・ 製作しない
鍵箱 ○ 設ける（ 組用 3組） ・ 設けない
倉吉市：ﾏｽﾀｰｷｰは、1階各室及び2階災害対策室（市）・情報通信室のみに対応。
消防局：ﾏｽﾀｰｷｰは、各階各室に対応。

⑦ 自動ドア開閉装置 (16．8．2~3)

センサーの種類 表16．8．1~3
※ 光線（反射） ・ マット ○ 熱線 ・ 音波 ・ 光電
・ 電波 ○ タッチ ・ 押しボタン ・ ペダル ・ 多機能便所
取付け位置 ・ 床面 ※ 天井面 ・ 壁面 ○ 無目 ○ ﾄﾞｱ面
凍結防止措置 ※ 行わない ・ 行う（適用箇所は建具表による）

⑧ 自閉式上吊り引戸装置 (16．9．3)

自閉式上吊り引戸装置の性能 ※ 表16．9．1による

9 重量シャッター (16．10．2)

種類 ・ 一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ・ 屋内用防煙
防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装付とし、連動制御盤及び、煙感知器は別途とする
耐風圧強度 一般（ ）N／㎡ 外壁用（ ）N／㎡
開閉機能による種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 表16．10．1
シャッターケース（防火、防煙以外） ※ 設ける ・ 設けない

16 建具工事

⑩ 軽量シャッター (16．11．2~4)

開閉形式 ※ 手動式 ○ 上部電動式（手動併用） 表16．11．1
耐風圧強度（ ）N／㎡
スラットの材質 ※ JIS G3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は JIS G3318（塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない
ガイドレールの材質 ※ ステンレス製（SUS304）厚さ1．5mm（ ※ 中柱共 ）
座板（屋外の場合） ※ ステンレス製既製品 ・

11 オーバーヘッドドア (16．12．2~3)

セクション材料による区分
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能 ・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa
・ 1250Pa ・ 1700Pa
開閉形式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形
ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス製（SUS304）厚さ2．0mm

⑫ ガラス (16．13．2)

・ 合わせガラス

品 種	構成種類	性 能
※ フロート合わせガラス	※ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス	・ Ⅰ類
・ 網入合わせガラス	・ 網入り、フロート板合わせガラス ・ 網入り、熱線吸収板合わせガラス	・ Ⅱ－1類 ・ Ⅱ－2類 ・ Ⅲ類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種 類	性 能
※ フロートガラス	※ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類
・ 型板ガラス	※ 型板強化ガラス	

○ 複層ガラス

品 種	断熱性	日射遮へい性
・ 断熱複層ガラス	・ 1種	U1
	・ 2種	U2
	・ 3種	・ U－3－1 ・ U－3－2
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 4種	E4
	・ 5種	E5

・ 熱線反射板ガラス

品 種	色 調
※ 熱線反射ガラス	・ ブルー ・ グレー
・ 高性能反射板ガラス	・ ブロンズ ・ シルバー

品 種	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※ 熱線反射ガラス	・ 1種	A種	
・ 高性能反射板ガラス	・ 2種	・ A種 ・ B種	
	・ 3種	B種	

反射皮膜面 ※ 内面 ・ 外面
映像調整 ※ 行わない ・ 行う

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色 調
※ 倍強度ガラス	
・ 倍強度熱線吸収ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・

⑬ ガラスの留め材 (16．13．2)

表16．13．1

建具の種類	材 種
鋼製	※ シーリング材
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット（グレイジングチャンネル形）
ステンレス製	※ シーリング材
木製	※ シーリング材

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

⑭ ガラス溝の寸法、形状等 (16．13．3)

※ 表16．13．1による
・ 図示による

15 ガラスブロック積み (16．13．5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅 (mm) 平積み	目地幅 (mm) 曲面積み	伸縮調整目地 (mm)	防火性能
正方形	・ 125×125	80			※ 8～15	外側 ※ 15以下	※ 6m以下毎に10～20	※ なし
	・ 160×160	・ 95 ・ 125			・ 15～25		・ 図示による	・ あり
	・ 200×200	・ 95 ・ 125						
	・ 320×320	95				内側 ※ 6以下		
長方形	・ 250×125	80						
	・ 320×160	95						

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける （形状 ※ 図示による ・ ）
力骨 ※ ステンレス鋼（SUS304）径5．5mmはしご形状複筋及び単筋 ・
目地部の力骨の補強方法 ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・
化粧目地モルタルの色 （ ）
シーリング材 ※ 表9．6．1による ・
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ・ 図示による ・
形状 ・ 図示による ・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画として提出する

16 ガラス用フィルム

名 称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1
・			

品質 JIS A5769による。

17 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0．4kw以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール (17．1．3) (17．2．2~5) (17．3．2~5)

取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱、梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式
性能

耐震性能（地震力係数）		気密性	・A－1 ・A－2 ・A－3 ・A－4 ・
水平方向（kH）	※ 1．0 ・	耐火性	・30分 ・1時間
垂直方向（kV）	※ 0．5 ・	耐温度差性	・80℃ ・70℃ ・60℃
		遮音性	・T－1 ・T－2 ・T－3 ・T－4
水密性	・W－1 ・W－2 ・W－3 ・W－4 ・W－5	断熱性	・H－1 ・H－2 ・H－3 ・H－4 ・H－5

18 塗装工事

① 材 料 (18．1．3)

屋内に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

② 素地ごしらえ (18．2．1~7)

木部 表18．2．1~7
○ A種（不透明塗料塗り） ○ B種（透明塗料塗り）
鉄部他

鉄 鋼 面	・ A種	・ B種	※ C種
亜鉛めっき（建具）面	・ A種	・ B種	○ C種
亜鉛めっき（建具以外）面	・ A種	・ B種	・ C種
モルタル及びプラスター面	・ A種	※ B種	
コンクリート及びALCパネル面	・ A種	※ B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	・ A種	・ B種	
石膏ボード及びその他のボード面	・ A種	○ B種	

③ 錆止め塗料塗り (18．3．1~3)

塗料種別
鉄鋼面 表18．3．1

	規 格 名 称	種 類	摘 要
○ A種	○ シアナミド鉛さび止めペイント	○ 2種	○ 屋内 ・ 屋外
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ 1種	・ 屋内 ・ 屋外
・ B種	・ 水系さび止めペイント		・ 屋内
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ 2種	・ 屋内

亜鉛めっき鋼面 表18．3．2

	規 格 名 称	摘 要
○ A種	○ 鉛酸カルシウムさび止めペイント	○ 屋内 ○ 屋外
・ B種	・ 変性エポキシ樹脂プライマー	・ 屋内 ・ 屋外
・ C種	・ 水系さび止めペイント	・ 屋内

塗り工程種別
鉄鋼面 表18．3．3
見え掛かり部分 （ ※ A種 ・ B種 ）
見え隠れ部分 （ ・ A種 ※ B種 ）
亜鉛めっき鋼面 表18．3．4
鋼製建具等 （ ※ A種 ・ B種 ・ C種）
その他 （ ・ A種 ・ B種 ※ C種[変性エポキシ樹脂プライマー]）

④ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） (18．4．3) (18．4．4)

木部 表18．4．1
屋外（ ※ A種 ・ B種 ）
屋内（ ・ A種 ※ B種 ）
鉄鋼面 表18．4．2
・ A種 ※ B種

⑤ クリヤラッカー塗り（CL） (18．5．2)

表18．5．1
・ A種 ※ B種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） (18．6．2)

表18．6．1
・ A種 ※ B種

7 耐候性塗料塗り（DP） (18．7．2~4)

コンクリート面及び押出成形セメント板 表18．7．3
・ A種 ・ B種 ・ C種

⑧ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G） (18．8．2~5)

コンクリート面等 表18．8．1~4
・ A種 ※ B種
鉄鋼面（屋内）
・ A種 ※ B種

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） (18．9．2)

表18．9．1
・ A種 ※ B種

10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－T） (18．10．2)

表18．10．1
・ A種 ※ B種

11 ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） (18．11．2)

表18．11．1
・ A種 ※ B種

⑫ 木材保護塗料塗り（WP） (18．13．2)

表18．13．1
・ A種 ※ B種

13 マスチック塗材塗り (18．14．2)

種別 表18．14．1
・ A種 ・ B種
仕上げ塗材塗り
※ つや有合成樹脂エマルションペイント

19 内装工事

① 接着剤 (19．2．2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19．2．2~3)

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること（JIS A5705（ビニル系床材）に規定されるビニル系床材の種類で記号PFに該当するものを除く）

③ カーペット敷き (19．3．3~4)

○ ビニル床シート ☑ （図示参考品番による）

種類	記号	色柄	厚さ (mm)	工法
※ 発泡層のないもの	※ NC FS HS	・ プレーン ※ マーブル ・ 特殊柄	○ 2．0 ※ 2．5 ○ 2．8	・ 突付け ※ 熱溶接

○ ビニル床タイル ☑

種類		記号	厚さ (mm)	柄
・ ホモジニアス		~~・~~ FT	※ 2．0 ○ 3．0	・ プレーン
・ コンポジション	・ 置敷き	HT	※ 5．0	※ マーブル
	※ 半硬質	~~・~~ KT	※ 2．0	・ 特殊柄
	・ 軟質	CTS		（図示参考品番による）

・ 特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ (mm)	
・ 帯電防止床シート	NC	※ 2．0	帯電防止性能評価値（JIS A1455） 1．2以上～3．2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A1454） 1×10^{7}～$\simeq10^{10}\Omega$程度
・ 帯電防止床タイル	CTS		

・ 特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)	材料	色柄
○ 誘導用床材、注意喚起用床材	2．0	○ 300×300	※ 塩ビ ・ 合成ゴム	黄色
（表面形状 JIS T9251）	○ 7．0	・ 400×400	合成ゴム	

・ ゴム床タイル

色柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)	工法

ビニル幅木の高さ (mm) ※ 60 ○ 75
厚さ (mm) ※ 2．0 ・
材質 ※ 軟質 ・ 硬質

③ カーペット敷き (19．3．3~4)

表19．3．2
・ 織ジュータン （ ※ 帯電防止性能 JIS L 1023 の人体帯電圧 3kv 以下とする。）
・ A種 ・ B種 ・ C種
○ タフテッドカーペット
パイル形状 ： ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ
パイル長さ ： 4mm（全厚6mm）
工 法 ： ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法
○ ニードルパンチカーペット
厚 さ ： 7．0mm（ﾗﾊﾞｰ付）
○ タイルカーペット ☑ 表19．3．2

種別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工法
※ 第一種	※ ループパイル	500角	※ 6．5mm	※ 通用しない	※ のり付加工
・ 第二種	・ カットパイル		○ 6．0mm	・ 耐電圧3kV未満	品敷き
					○ 全面接着

4 合成樹脂塗床 (19．4．3)

・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 表19．4．3
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂系塗床材 表19．4．4~7
仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ
・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

5 床用防じん塗料塗り

材質 水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0．25Kg／㎡以上とする

6 フローリング張り (19．5．2~7)

複層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種
種別・工法
・ 単層フローリング ☑（・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット）
・ 湿式工法 ・ 乾式工法（ ・ 釘どめ工法 ・ 接着工法 ）
※ 複合フローリング ☑（※ 1種 ・ 2種 ・ 3種） 表層 ※ なら ・ ヒノキ
・ 乾式工法（ ・ 釘どめ工法（ ・ A種 ・ B種 ※ C種） ・ 接着工法）
仕上げ ※ ウレタン樹脂ワニス ・ 生地のままワックス ・ オイルステインの上ワックス塗り
間伐材等の適用 ※ 適用する ・
間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること
居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0．3mg／L以下かつ最大値で0．4mg／L以下であること
県産材の活用
・ 適用しない
・ 適用する（樹種 ・ ・ ・ ・ ）

7 畳敷き (19．6．2)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 表19．6．1
D種の場合の畳床記号 ・KT－Ⅰ ・KT－Ⅱ ※KT－Ⅲ ・KT－K ・KT－N

8 せっこうボードその他ボード及び合板張り (19．7．2)

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ等 (mm)
・ ○ JIS A 6901 規格品 厚さ9.5tは ・ 準不燃認定品 ・ 不燃認定品	○ 壁	○ 下張り	突付け	・ 9.5 ○ 12.5（不燃認定品）
		○ 上張り	・ 目透し	・ 9.5
		○ 直張り	○ 突付け	○ 12.5（不燃認定品）
		・	※ 継目処理	・ ㎜× ㎜
			○ 突付けV目地	・ ㎜× ㎜
	○ 天井	○ 下張り	突付け	○ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り	・ 目透し	○ 9.5
		○ 直張り	○ 突付け	・ 12.5（不燃認定品）
		・	※ 継目処理	・ ㎜× ㎜
			・ 突付けV目地	・ ㎜× ㎜
・ ・	・ 壁 ・ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り	・ 目透し	・ 9.5
		・ 直張り	・ 突付け	・ 12.5（不燃認定品）
		・	※ 継目処理	・ ㎜× ㎜
			・ 突付けV目地	・ ㎜× ㎜

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料 ☑
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が50%以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が20%以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの）を計上せずに、重量比配合割合を計算することができるものとする）

附記

平成24年2月改定版

設計年月日 H25．2．・．

共同企業体名称
フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体

代表者
㈲フジイ総合設計事務所
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町143番地
TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689

管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳
製図 1級建築士 第325872号 竹中誠
製図 1級建築士 第 号

名称 防災センター新築工事（建築主体）
建築工事仕様書(4)

SCALE

図面No. A－4／84 枚の内

20 ユニット及びその他の工事

④ 壁紙張り （19．8．2）

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造方法）	防火性能の級別
図示による	**中級品**	**不燃，準不燃認定品**

⑭ 断熱材打込み工法 K1 （19．9．2）

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

断熱材の種類　㊇ 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b　厚さ　※　25㎜　○ 20㎜（2層）　○ 30㎜（ピット上スラブ下）　○ 35㎜（スラブ下）

○ 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b（土間下）　厚さ　㊇25㎜（二重敷）　○50㎜（地中梁）

・ 硬質ウレタンフォーム保温板1種2号　厚さ　※　20㎜　・

・ フェノールフォーム保温材A種　厚さ　・

断熱補修材　・ 断熱材と同材

※ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

⑬ 断熱材現場発泡工法 K2 （19．9．3）

ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド

放散量　※　規制対象外　・　第三種

断熱材の種類　※　A種1　・　B種1

厚さ　・　25　○　30　○　35　○　20

施工箇所　㊇ 窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所

○ 図示による

⑫ 断熱材の原材料 G （19．9．2～3）

グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８０％以上であること

ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８５％以上であること

発泡断熱材　：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること

① フリーアクセスフロア （20．2．2）

施工箇所	**図示による（2層・3階）**	
構法	・ パネル構法　・ 溝構法	・ パネル構法　・ 溝構法
耐震性能	○ 1．0G　・ 0．6G	・ 1．0G　・ 0．6G
耐荷重性能	※ 3000N　・ 5000N	※ 3000N　・ 5000N
パネル寸法（㎜）	250×250（樹脂製置敷仕様）	
高さ（㎜）	○ 55（2階）　○ 100（3階）	・　・
床表面仕上げ材の種類	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※ メーカー仕様　・ 図示による	

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書１９章内装工事による

配線用取り出しパネル

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※　２０～３０％　・

配線取り出し開口　※　パネル１枚につき４０㎜ｘ８０㎜程度の開口１ヶ所以上　・　図示による

空調用吹き出し（吸い込み）パネル

※ なし

・ 有り　（ ※ 固定式　・ 可変式）：　施工箇所（ ※ 図示による　・　）

耐荷重性能（５０００Ｎ、高さ３００以上）の性能

平成元年建設省告示第１３２２号「耐震性フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものまたは同等のものとする

ローリングロード性能　※　適用する　・　適用しない

以下（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

ローリングロード試験

耐荷重性能（３０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎの際、最大変形量１．５㎜以下

耐荷重性能（５０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎ以上の際、最大変形量１．０㎜以下

（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

2 可動間仕切 （20．2．3）

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による

構造形式による種類　※ スタッド式（ ・ スタッド露出・ スタッド内蔵 ）　・ スタッドパネル式

構成材の種類　※　図示による

表面材質及び厚さ（㎜）　※　鋼板０．６　・　鋼板０．８

パネル表面仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（ ※ 常備色　・　指定色 ）

パネル総厚さ（㎜）　・　程度

遮音性の区分　・ ０　・ １２　・ ２０　・ ２８　・ ３６

防火性能　・ 不燃

③ 移動間仕切 （20．2．4）

パネルの操作方法による種類　○ 製造所の仕様による　・ 図示による

表面材質及び厚さ（㎜）　※ 鋼板０．６　・

仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（ ※ 常備色　・　指定色 ）

パネル厚さ（㎜）　○ 80，65　程度

パネル圧接装置の操作方法　○ 製造所の仕様による　・ 図示による

遮音性の区分　・ ３６未満　○ ３６以上（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

④ トイレブース （20．2．5）

表面材　※ メラニン樹脂系化粧板　・ ポリエステル樹脂系化粧板

ドアエッジ材質形状　※ アルミＲエッジ　○ ステンレスＲエッジ

幅木材質　※ ステンレス幅木

⑤ 階段滑止め （20．2．6）

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（ ・ 埋込工法　※ 接着工法 ）

端部フラットエンド　※ 有（ ※ タイヤと同材　・ ステンレス鋼 ）　・ 無

型式　※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　幅（㎜）　※ 約３５

6 黒板及びホワイトボード （20．2．8）

※ ホワイトボード　ほうろう　形状・寸法は図示による

・ 黒板　※ 焼き付け　色彩　※ 緑　形状・寸法は図示による

7 鏡 （20．2．9）

取付箇所　・ 図示による　・（　）

寸法（㎜）　・ 図示による　・

（別途Ｍ設備工事）

厚さ（㎜）　※５　・

※ 防触処理

⑧ 表示 （20．2．10）

○ 案内板　・ 庁舎案内板（ ※ 標準詳細図による　・ 図示による ）

・ 各階案内板（ ※ 標準詳細図による　・ 図示による ）

○ 視覚障害者用案内板（ ※ 共通詳細図による　○ 図示による ）

○ 室名札　※ 標準詳細図による　○ 市販品

○ ピクトグラフ　標準案内図用記号　※ ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・ 図示による

形状・その他　※ 図示による

○ 戸名文字　※ 標準詳細図による　・

・ 切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）○ 箱文字　○ステンレス製・黄銅製）

字数（　）　文字の大きさ（　ｘ　）

・ 対人衝突防止表示　・ 図示による

○ 非常用進入口　○ 図示による

案内用図記号はＪＩＳ２８１０による

9 煙突ライニング （20．2．11）

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※　４００℃　・　６５０℃

キャスタブル耐火材　工法　・　こて押さえ　・

最高温度　※　４００℃　・

製造所

10 ブラインド （20．2．12）

形式	・ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・ アルミスラット　・ クロススラット
スラットの種類	※ ギア式　・ コード式	※ １本操作コード式
スラットの幅（㎜）	※ ２５　・ ３５	・ ７５以上　・ １００

11 ロールスクリーン （20．2．13）

材種　遮光性能　・

品質

操作方法　・ 電動式　・ プリング式　・ チェーン式

⑫ カーテン及びカーテンレール （20．2．14）

カーテン

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	開閉形式	カーテン操作方式
図示	**ポリエステル・上部ネット・防炎・ウォッシャブル品**		○ 片引き　・ 引分	※ 手動　・ 電動

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物
上記施工箇所	**10-60**	**ステンレス製**		**シングル（天井直付）**	

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

⑮ 点検口

天井　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　㊇ ４５０ｘ４５０　○ ６００ｘ６００

形式　一般型　外枠　○ 額縁タイプ　・ 目地タイプ

内枠　○ 額縁タイプ　・ 目地タイプ

枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内

材料の品質及び性能

外枠、内枠の材質

アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５

表面処理　表１４．２．１のＣ－１種、Ｃ－２種（外部はＢ－１種、Ｂ－２種）

外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト

鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの

床　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　・ ４５０ｘ４５０　※ ６００ｘ６００

形式　※　屋内用一般型　・　密閉形

パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの

枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内

材料の品質及び性能

受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材

アルミニウム合金押出形材ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５

表面処理　表１４．２．１のＡ－１種、Ａ－２種、Ｂ－１種、Ｂ－２種

開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式

その他　製造所の仕様による

14 鋼製書架及び物品棚

・ 固定式（下記以外は図示による）

鋼製書架　※ ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・ 法務省型

鋼製物品庫　・ ＪＩＳ　Ｓ１０４０による

・ 移動式　形状等は図示による

15 くつふきマット

※ 塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））ワンライン型

・ 硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））

・ ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））

16 フェンス

フェンスの種類　・ ビニル被覆エキスパンドフェンス　・ 鋼管フェンス

・ 樹脂塗装メッシュフェンス　・ アルミフェンス

高さ　・ 図示による　・

⑰ 天井見切り縁

材種　㊇ アルミニウム既製品　○ ビニル既製品

18 ピクチャーレール

※ 見切り縁兼用タイプ　・

移動フック　ヶ／ｍ　安全荷重　※　１５kg以上　・

⑲ 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・ レジンコンクリート製（厚さ６０㎜）　○ 磁器質タイル製

表面形状ＪＩＳ　Ｔ９２５１による

寸法　※　３００ｘ３００　・

色　黄色

20 旗竿

形式　・ ロープ式（テーパー式）

※ ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）

材種　・ アルミニウム合金　・

高さ（ｍ）　・

旗竿受金物　※ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

㉑ 既製家具

合板製、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外　・第三種

22 車止め柵

形　式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（㎜）	備考
・ 上下式内蔵式（・標準品　・ｽﾘﾑﾀｲﾌﾟ式） ・	・ ステンレス製 ・	・ φ76.3　t＝2.0 ・	・ ＧＬ＋700	

23 アスベスト成形板の処理工事

※　県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名	厚さ（㎜）	処理を行う範囲

施工調査

※ 行う　・ 行わない

石綿作業主任者

特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から選任する。

特別管理産業廃棄物管理責任者

保温材については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

21 排水工事

1 排水管 （21．2．1）

遠心力鉄筋コンクリート　表21．2．1

種類　※　外圧管Ｂ形１種　・

継手　※　ゴム接合　・　モルタル接合

硬質ポリ塩化ビニル管

・ ＶＰ

・ ＶＵ

・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＳ－ＶＵ）G

建物外での硬質塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０％以上使用されていること

2 側塊、排水桝等 （21．2．2）

鋳鉄製ふた

型式　※　水封型　・　簡易密閉型　・　密閉型　・　中ふた付密閉型

適用荷重（安全荷重［ｋＮ］）

屋内用　・　Ｔ－２用（５）

屋外用　・　Ｔ－２用（５）　※　Ｔ－６用（１５）　・　Ｔ－２０用（５０）

鍵　・ 有　・ 無

グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メンバーピッチ 普通目	メンバーピッチ 細目	上面形状
・ 鋼製	・ 受枠付 ・ ボルト固定 ・	・ 溝ふた（横断用） ・ 溝ふた（側溝用） ・ 桝ふた用 ・ Ｕ字溝用	・ 歩行用 ・ Ｔ－２用 ・ Ｔ－６用 ・ Ｔ－１４用 ・ Ｔ－２０用			※ 凹凸形
・ ステンレス製	・ 受枠付 ・ ボルト固定 ・	・ 溝ふた（横断用） ・ 溝ふた（側溝用） ・ 桝ふた用 ・ Ｕ字溝用	・ 歩行用 ・ Ｔ－２用 ・ Ｔ－６用 ・ Ｔ－１４用 ・ Ｔ－２０用			・ 凹凸形 ・ 平形

22 舗装工事

1 路床 （22．2．2～5）

（別途工事）

路床の構成　※　標準詳細図による　・　図示による

盛土に用いる材料（表３．２．１による）

・ Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種

・ 建設汚泥から再生した処理土G

支持力比（ＣＢＲ）試験

※ 行わない　・ 行う（ ※ 乱した土　・ 乱さない土 ）

締固めの度の試験

※ 行わない　・ 行う

砂の粒度試験

※ 行わない　・ 行う

2 路盤 （22．3．2～5）

（別途工事）

路盤の構成　※　標準詳細図による　・　図示による　表22．3．3

路盤材料　※　再生材クラッシャランG　・　クラッシャラン鉄鋼スラグG

締め固め度試験

※ 行わない　・ 行う

砂の粒度試験

※ 行わない　・ 行う

3 アスファルト舗装 （22．4．2～6）

（別途工事）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による

アスファルト　※　再生アスファルトG　・　ストレートアスファルト

骨材　※　砕石　・　アスファルトコンクリート再生骨材G

※ アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物等の種類

※ 表層　※ 密粒度アスファルト混合物（１３）

・ 細粒度アスファルト混合物（１３）

・ 基層　・ 粗粒度アスファルト混合物（２０）

・ カラー舗装

種類　※ 表層に着色した加熱アスファルト混合物

・ 表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物

・ 表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装

カラー舗装に添付する着色骨材

・ 有色骨材（材質＜　＞）

・ 着色骨材（材質＜　＞）

シールコート　※ 行わない　・ 行う

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う

4 コンクリート舗装 （22．5．2～6）

舗装の構成　※ 標準詳細図による　・ 図示による

溶接金網　※ 使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・ 使用しない

コンクリート版の厚さの試験　※ 行わない　・ 行う

5 カラー舗装 （22．6．2～6）

舗装の構成　※ 標準詳細図による　・ 図示による

車道部の基層　・ 有　・ 無

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う

6 透水性アスファルト舗装G （22．7．2～6）

舗装の構成　※ 標準詳細図による　・ 図示による

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う

7 排水性アスファルト舗装G （22．8．2～6）

舗装の構成　※ 標準詳細図による　・ 図示による

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う

官公署その他への手続き

改修標準仕様書（９．１．３(b)(2)）によるほか、次の必要な手続きを行う

（１）建築物解体等作業届（所管労働基準監督署）

（２）特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書（都道府県知事又は市長）

安全衛生管理

洗浄設備

（ｉ）洗眼、うがいの設備を設ける

（ii）更衣設備等を設ける

表示・掲示

改修工事標準仕様書（９．１．２(c)(4)）による表示・掲示を行う。

作業場の養生

処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉塵飛散を防止する。

対象室（　）

改修工事標準仕様書（９．１．２(c)(4)）による表示・掲示を行う。

除去物及び汚染物の処分等

保温材については、改修工事標準仕様書（９．１．２(d)(2)）による。

22 舗装工事

8 ブロック系舗装 （22．9．2～3）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による

※ インターロッキングブロックG　表22．８．１

材質（ ※ コンクリート　・　） 種類（ ※ 普通　・ 透水性　・ 植生用 ）

形状（ ・ 長方形　・ 正方形　・ 六角形 ）　厚さ（ ・ ６０　・ ８０　・ １００ ）

表面加工　・ ショット仕上げ

クッション材　※ 空練りモルタル　・ 砂

・ 再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）

再生材料が原材料の重量比で２０％以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂（キラ）、鉄鋼スラグ 非鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰灰、建築廃材 （汚泥を除く）、廃ガラス（無色及び茶色のガラスびんを除く）、紙製スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑	前処理方法によらず対象
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	焼却灰化又は溶融スラグ化
上水道汚泥	前処理方法によらず対象
湖沼等の汚泥	

・ 再生材料を用いた舗装用ブロック製（プレキャスト無筋コンクリート製品）

再生材料が原材料の重量比で２０％以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。なお、透水性確保のために、粗骨材の混入率を上げる必要がある場合は、再生材料が原材料の重量比１５％以上使用されていること

ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	

コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は原則再生材料を用いた舗装ブロックGとする。ただし調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

9 区画線 （別途工事）

※ 路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）

・ １種G　・ ２種G　※ ３種１号

・ 低揮発性有機溶剤型の路面表示用塗料G

水性型の路面表示用塗料であって、揮発性有機溶剤（ＶＯＣ）の含有率（塗料総質量に対する揮発性溶剤の質量の割合）が５％以下であること

色　※ 白　塗布幅　※ 図示による　塗布厚さ　※ １．０

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認 （23．1．3）

土壌の水素イオン濃度（ｐｈ）試験　・ 行う　※ 行わない

水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・ 行う　※ 行わない

2 植栽基盤の整備 （23．2．2～4）

排水　・ 設置する（・暗きょ　・開きょ　・排水層　・縦穴排水 ）　・ 設置しない

水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・ 行う　※ 行わない

整備工法　表23．２．２

樹木　・ 行う（ ※ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 ）　※ 行わない

芝及び地被類　※ 行う（ ※ Ｂ種　・　）　・ 行わない

植込み用土

※ 現場発生土の良質土　・ 客土

土壌改良材

・ 適用する（施工箇所　）

・ バーク堆肥G

製品は以下を満足すること

有機物の含有率（乾物）　：７０％以上

炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比］　：３５以下

陽イオン交換容量［ＣＥＣ］（乾物）：７０ｍｅｑ／１００ｇ以上

ｐＨ　：５．５～７．５

水分　：５５～６５％

幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常が認められない

窒素全量［Ｎ］（現物）　：０．５％以上

りん酸全量［Ｐ２Ｏ５］（現物）　：０．２％以上

加里全量［Ｋ２Ｏ］（現物）　：０．１％以上

・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

ひ素　：０．００５％以下

カドミウム　：０．０００５％以下

水銀　：０．０００２％以下

ニッケル　：０．０３％以下

クロム　：０．０５％以下

鉛　：０．０１％以下

有機物の含有率（乾物）　：３５％以上

炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比］　：２０以下

ｐＨ　：８．５％以下

水分　：５０％以下

窒素全量［Ｎ］（現物）　：０．８％以上

りん酸全量［Ｐ２Ｏ５］（現物）：１．０％以上

アルカリ分（現物）　：１５％以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）

施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

3 支柱材 （23．3．2）

※ 丸太（間伐材）G　・ 真竹

4 新植樹木の枯補償 （23．3．4）

※ １年間　・

5 新植樹木の枯損処理 （23．3．6）

※ １年間　・

6 屋上緑化G （23．5．2～3）

植栽基盤及び材料

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ　・ 図示　・

排水層　・ 軽量骨材（層の厚さ：　）　・ 板状成形品

植込用土　※ 改良土　・ 人工軽量土

樹木の材種、寸法、株立数等　※ 図示　・

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等　※ 図示　・

見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※ 図示　・

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面No.
	H25．2． ．．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858 (24) 6688　FAX 0858 (24) 6689	1級建築士　第145757号　藤井泰徳 製図 1級建築士　第325872号　竹中誠 製図 1級建築士　第　号	防災センター新築工事（建築主体） 建築工事仕様書(5)		A－5／84枚の内

平成２４年８月改定版

建築基準法チェック

建築計画	用途（工事種別）	主要用途	事務所(増築)
		棟別用途	[①棟:事務所(新築)＋②棟:駐車場(新築)]:1棟　③棟:渡り廊下(新築)
	耐火性能	建築物	[①棟:準耐火建築物(ﾛ-2)＋②棟:準耐火建築物(ﾛ-2)]:1棟　③棟:その他
		主要構造部	[①棟:耐火構造＋②棟:鉄骨造(+折版屋根)]:1棟　③棟:アルミ製
	面積（棟別㎡は別図面積表による）	敷地面積	（　12,616.59　㎡）　令2条第1項第一号
		建築面積	（増築部　589.24 ㎡）(既設部 670.68 ㎡)（合計 1,259.92 ㎡）
		法53条 建ぺい率	指定建ぺい率 60%≧ 9.99 %
		延床面積	（増築部 1,464.78 ㎡）(既設部 701.31 ㎡)（合計 2,166.09 ㎡）
		法52条 容積率	駐車場・車庫部分:(91.96+50.00=)141.96㎡ (2,166.09*1/5=433.22㎡)
			水防倉庫(備蓄倉庫):31.25㎡ 計173.21㎡
			容積率算定用面積: 2,166.09 - 173.21 = 1,992.88 ㎡
		法52条1項 用途地域による指定容積率	200%≧ 15.80 %
	構造・階数		[①棟:鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 地上3階建PH1＋②棟:鉄骨造平屋建]:1棟　③棟:ｱﾙﾐ造平屋建
			PH26.88㎡ ≦ 建築面積583.06×1/8=72.88㎡
	高さ	最高の軒高（ 11.75 m）	最高の高さ（ 15.15 m）
地域地区	都市計画区域	都市計画区域内(区域区分非設定)	用途地域: 工業地域(200/60)
	防火指定	地域外	その他地区: 無指定
敷地	令1条	1項一号(敷地): 既設建物(車庫)とは用途上不可分	
	法19条	1項(敷地の地盤高):適合(配置図)　3項(構内排水設備):適合(配置図･配管図他)	
道路	法42条	道路の定義： 第1項一号道路(市道)(配置図)　最大幅員 6.00 m	
	法43条	敷地等と道路との関係： 接道長さ 44.08 m≧基準法2.0m･県条例3.0m(別表第一第四号)	
		県条例第九条:床50㎡超車庫出入口と道路との関係-適合	
高さ制限	法56条	1項一号(道路斜線)： 適合 （道路反対側境界線+ｾｯﾄﾊﾞｯｸから1.5倍，距離20m）	
		1項ニ号(隣地斜線)： 適合 （境界線+ｾｯﾄﾊﾞｯｸから地上31m+2.5倍）	
		1項三号(北側斜線)： 適用外	
	法56条の2	1項　（日陰制限)： 適用外	
	令2条2項	平均地盤面： 建物周囲の地面と接する位置に高低差はなし	
構造制限	法21条	大規模建築物：適用外(主要構造部は鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造,鉄骨造)	
特殊建築物	法22条～24条の2	法22条区域： 区域外	
防火区画	法26条	防火壁： 同条第一号適用により適用外(任意-準耐火建築物)	
	法27条	法別表第1： 適用外	
	法61･62条	防火･準防火地域内： 地域外	
	法2条九の三(ﾛ)	(ﾛ準耐-2　適用)　適合 （延焼線は①棟側のみ）	
	令109条の3第二号	柱･梁:不燃材(①棟:RC造,②棟:S造)　床(3階以上):準不燃かつ準耐火構造等(①棟:RC造150t)	
		外壁(延焼部):不燃材かつ防火構造(①棟:RC造)　床(2階):準不燃(①棟:RC造)	
		外壁(一般部):不燃材(①棟:RC造)　屋根:不燃材で葺き,その他部分(野地板,垂木等)は準不燃	
		間仕切壁(構造･防火上重要):準不燃(①棟:RC造)　(①棟:RC造,②棟:GL鋼折版,部材塗装ﾒｯｷ鋼板)	
		階段:準不燃(①棟:RC造)	
	令109条	延焼線内の開口部： 適合(防火設備の設置) (延焼線図は「建具KeyPlan」参照)	
		[①棟+②棟]:1棟と，③棟間は,法2条六号「その他これらに類するもの」の適用。(防火避難規定の解説2-2)	
	令112条	防火区画：第1項(面積区画1500㎡)：適用外 /延床面積1,500㎡以下の為。	
		第2～8項：適用外	
		第9項(たて穴区画)：適合 /屋内階段･EPS(南側)	
	（「建具KeyPlan」参照）	第10･11項(1項ﾊﾟﾝﾄﾞﾙ)：適合 /耐火構造壁90cm以上,耐火構造突出床50cm以上	
		第12･13項(異種用途区画)：適用外/24条-1F消防車輌庫50㎡越えではない。	
		第14項(特定防火,防火設備)：適合 -図示による。(建具表)	
		第15･16項(区画貫通部)：適合 -図示による。(措置詳細は設備図)	
間仕切壁	令114条	防火上主要間仕切壁：第1～5項:適用外 (用途:事務所)	
主要構造部無窓居室等の	法35の3	令111条の開口部を有しない居室を区画する主要構造部	
		:適用外 （法規ﾁｪｯｸ(2)参照）	
内装制限	令128条の4	1項一号(特殊建築物)･二･三号： 適用外(用途:事務所)	
		2項： 適用（階数3以上かつ500㎡越えの為。）	
		3項： 適用外 (階数2かつ1,000㎡越える場合に適用)	
		4項： 適用外 (火気使用室は主要構造部が耐火構造ではない場合に適用)/IHの使用	
	令129条	1～3項： 適用外 （令128条の4の1項各号が全て適用外の為）	
		4項： 居室-壁･天井:難燃材料	
		廊下･階段等-壁･天井:準不燃材料	
		5項(床50㎡越えで1/50無窓)：適用外 （法規ﾁｪｯｸ(2)参照）	
		※内装制限規定では4項による仕様となるが,排煙設備(防煙壁)規定により	
		居室,室共に，壁については不燃材の適用がある。	

階段	令23条 令24条	階段各部寸法： 表(3)適用(屋内階段1～3F),(4)適用(PH階段),同条ただし書き適用(屋外階段)
		法定階段幅 120cm以上(屋内)：適合(図示1,420) ,90cm以上(屋外)：適合(図示945･960)
		法定踊り場踏幅 120cm以上：適合(図示) ,75cm以上(PH)：適合(図示)
		法定蹴上 20cm以下(屋内外)：17.5cm(屋内),19.25cm(屋外)適合 ,22cm以下(PH)：20.15cm適合
		法定踏面 24cm以上(屋内外)：28.5cm(屋内),26.0cm(屋外)適合 ,21cm以上(PH)：26.0cm適合
	令25条	階段の手摺り： 適合 （図示）
廊下･避難	令117条	適用の範囲：「階数が3以上である建築物」により適用
	令119条	廊下の幅：(3室以下専用のもの除き居室の床面積合計が200㎡超える:適用)
		両側居室廊下幅1.6m ≦ ≒1.84m(3階) 適合
		・2階「廊下」は消防局事務室と一体空間。ﾎｰﾙまでの一部廊下は1.2m以上で適合。
	令120条	直通階段の設置： 適合 （表(3)50mの適用） (「建具KeyPlan」参照)
	令121条	2以上の直通階段の設置： 3階-適合/(1項六号ﾛ及び2項適用/200㎡越えの為)
		2階-適用外/(1項六号ﾛ及び2項適用/400㎡以下の為)
		第3項(重複区間)： 適合 (25m以下) (「建具KeyPlan」参照)
	令121条の2	屋外階段の構造： 適合 (RC造)
	令122･123条	避難階段･特別避難階段： 適用外 (3階建て)
	令125条	屋外への出口(避難階)： 適合
		(階段から屋外出口迄:50m以下，居室の各部分から屋外出口迄:100m以下)
	令125条の2	施錠装置の構造等： 適用外(避難階段ではない,維持管理上常時閉鎖ではない。
		但し,1階部分については常時閉鎖とし,内部のみからの施解錠とする。)
	令126条	1項(1.1m以上の手摺)： 適合 （図示）
敷地内通路	令128条	敷地内通路： 法35条(階数が3以上)により適用 ⇒適合(1.5m以上) (「建具KeyPlan(1階)」参照)
	令128条の2	適用外
排煙設備	令126条の2	設置：･階数3以上で延500㎡超えにより適用。
		( )書きにより,床100㎡以内ごとに防煙壁で区画された居室除く。
		→ 令116条の2第1項第二号のﾁｪｯｸは必要。 （法規ﾁｪｯｸ(2)）
		･排煙告示の適用(平12建告1436)/法規ﾁｪｯｸ(2)による。
	令126条の3	構造： 適合(図示)
非常用照明装置	令126条の4	設置：･階数3以上で延500㎡超えにより,居室･避難経路への設置。
		･採光無窓居室(令116条の2第1項一号)無し。 （法規ﾁｪｯｸ(2)）
		･避難階･避難階の直上階の居室で避難上支障がない居室は設置緩和(四号)。
		･避難階居室：採光無窓でなく,当該居室各部分から屋外出口迄の歩行距離30m以下。
		･避難階直上階居室：採光無窓でなく,当該居室各部分から避難階の屋外出口迄の
		歩行距離20m以下。
		の場合の居室は設置緩和。(平12建告1411)
		WC，倉庫等の室には設置不要。 /設置箇所等は，図示による。
	令126条の5	構造： 適合(図示)
非常用進入口	令126条の6 令126条の7	設置： 3階建により適用 ⇒適合(図示による,AW-24)設置対象面は北面･東面
		構造： 令126条の6第二号適用,(道又は道に通ずる幅員4m以上の通路等に面する3階の
		外壁面に40m以内毎に,非常用進入口を設置,赤色灯･赤▼表示。) (「建具KeyPlan」参照)
		(「立面図(北側)」参照)
居室	法28条	居室の採光及び換気： 採光-1/20以上(令111条･令116条の2一号のﾁｪｯｸ)
		換気-1/20以上 法規ﾁｪｯｸ(2)による
	令20条	有効採光面積(採光補正)： 2項二号(工業地域)d/h×8-1(補正×3ﾏﾃﾞ) ⇒補正３
	令20条の2,3	換気設備基準,火気室換気： 適合 (機械設備図)
	令21条	居室の天井高さ： 適合(2.1m以上)
便所	法31条	便所： 水洗(下水道処理区域内)
	令28条	便所の採光･換気： 水洗便所･換気扇設置･照明器具設置 /一部,外気に接する窓有り
避雷設備	法33条 令129条の14,15	避雷設備： 適用外(高さ20m超えの場合に設置)⇒任意設置(RF設備機器保護等)
昇降機	法34条 令129の3～13	昇降機： 乗用･3停止･600kg･9名･45m/min
		出入口800 カゴ内法:間口1,050*奥行1,520*高2,280
備考	･ｼｯｸﾊｳｽ対策は仕上に関する事は内部仕上表，換気に関する事は機械設備図による。	
	･構造規定は別紙構造計算書による。(適合判定)	

消防法チェック

令別表第一による区分	(15)項　事務所等
設置すべき消防設備	●消火器具　⇒ABC-10型の設置(位置は図示:各階平面図)
	●自動火災報知設備　⇒電気設備図
	●防火管理者選任 （≧50人)⇒選任
	･避難器具：任意設置，(外部階段3Fに緩降機設置)(避難訓練用)
	･非常用発電機(少量危険物,灯油200ﾘｯﾄﾙ以下)：発電機届出,変電設備届出が必要。
	･屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙの場合,消火器不要。
	･1階の集会所(大会議室)は,貸しﾎｰﾙではない･関係機関が使用する,という条件より
	用途は集会所としては取扱わない。
	(H24.9.14　中部消防局予防課との打合せ)
	×：屋内消火栓設備(≧1,000㎡)
	[≧2,000㎡]：準耐火構造+内装制限または 耐火構造
	【≧3,000㎡】：耐火構造+内装制限
	内装制限：壁(全面)と天井の室内に面する部分の仕上を難燃材料(消令11条2項)
	⇒設置免除 (庁舎棟は2,000㎡未満で耐火構造，駐車場棟(150㎡未満)は別棟。)
無窓階のﾁｪｯｸ	■当該階の床面積の1/30以上の(有効)開口部面積
	(大：1m円内接or幅75cm×高1.2m以上)(小：50cm円内接)
	･1階床㎡×1/30 =532.26×1/30 = 17.74㎡(1階必要開口)
	･AW-1(×3)下部引違いのみ： (1.69)*1.90*3 = 9.633 (大)
	･AD-2： 0.90*2.10 = 1.890 (大)
	･AW-4(×3)： 1.69*1.50*3 = 7.605 (大)
	計 19.12㎡(∴OK)
	･2階床㎡×1/30 =461.63×1/30 = 15.39㎡(2階必要開口)
	･AW-9： 1.68*1.90+1.57*1.135*2 = 6.755 (大)(小)
	･AW-10： 1.69*1.90+0.82*1.135*2+1.69*1.135 = 6.990 (大)(小)
	･AW-11： 1.69*1.90+1.69*1.135 = 5.129 (大)(小)
	計 18.87㎡(∴OK)
	･3階床㎡×1/30 =444.01×1/30 = 14.81㎡(3階必要開口)
	･AW-24： 1.69*1.90 = 3.211 (大)
	･AD-4： 1.45*1.90 = 2.755 (大)
	･AW-23： 1.69*1.135*2 = 3.836 (小)
	･AW-16下部Fix： 1.69*0.70*2 = 2.366 (小)
	･AW-17下部Fix： 1.69*0.70*3 = 3.549 (小)
	計 15.71㎡(∴OK)

福祉のまちづくり条例他

■福祉のまちづくり条例：特別特定建築物
条例で追加された用途「ｶﾞｽ,電気,電気通信の用に供する事務所」
（計画通知添付のﾁｪｯｸﾘｽﾄ及び福まち図面参照。）

■倉吉市景観形成条例(○)：高さ13m以上,建築面積1,000㎡以上の為,適用。別添通知書,添付図等による。

■省ｴﾈﾙｷﾞｰ法(○)：延床面積300㎡以上の為,適用。別添書類,添付図等による。

■CASBEEとっとり(×)：延床面積2,000㎡未満(棟ごと)の為,対象外。

■建設ﾘｻｲｸﾙ法(○)：延床面積500㎡以上の建築物の新築･増築工事の為,対象。

附記	設計年月日 H25．2．．	共同企業体名称 フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	代表者 (有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	名称 防災センター新築工事（建築主体） 法規チェック(1)	SCALE	図面No. A－6／84枚の内

１階　ＬＶＳチェック

（各居室，室の床㎡は別図「求積図」による。）

部位名 / 床面積	(居室のみ) 必要面積	採光（採光補正係数＝3）	(居室のみ) 必要面積	換気	必要面積	排煙（防煙区画毎）
風除室･通用口 10.00		(室)		(室)		適用除外(防火避難規定24-4))
エントランス 39.39		(室)		(室)	1/50 1.78 (=88.83/50)	※ｴﾝﾄﾗﾝｽ＋展示室：一体防煙区画 ｴﾝﾄﾗﾝｽ側有効開口㎡=0.7927㎡(A-41図/展開図(1)参照) ＞ｴﾝﾄﾗﾝｽ床39.39㎡/50=0.7878㎡ よって，ｴﾝﾄﾗﾝｽ側開口部は展示室と排煙上有効に開放されている。
展示室 49.44	1/20 2.48	AW-1: 1.69*2.385*3*3 = 36.27 O.K	1/20 2.48	AW-1: 1.69/2*1.90*3 = 4.81 O.K		AW-1：1.69*0.485*3 = 2.45 O.K
掃除具入		(室)		(室)		平12建告1436号第四号(ﾊ) (床100㎡以下かつ防煙壁で区画)
中会議室 91.84	1/20 4.59	AW-5：(1.69*0.70*2+1.64*0.70)*3＝10.54 AW-6：((1.69-0.40)*(2.30-0.40))*3 = 7.35 (1.69*0.70*2+1.64*0.70)*2*3 = 21.08 計 = 38.97 O.K	1/20 4.59	AW-5：1.69*0.70+1.64*0.70 = 2.33 AW-6：1.6*2.30 = 3.68 (1.69*0.70+1.64*0.70)*2 = 4.66 計 = 10.67 O.K	1/50 1.84	AW-5：1.69*0.485 = 0.81 AW-6：1.69*0.485*2 = 1.63 計 = 2.44 O.K
小会議室 57.93	1/20 2.90	AW-4：1.69*1.50*3 = 7.60 AW-5：((1.69-0.40)*(2.30-0.40))*3 = 7.35 計 = 14.95 O.K ※移動間仕切壁収納時(大会議室)のLVSは中･小会議室ﾁｪｯｸにより，O.K。	1/20 2.90	AW-4：1.69/2*1.50 = 1.26 AW-5：1.6*2.30 = 3.68 計 = 4.94 O.K	1/50 1.16	AW-4：1.69/2*0.485 = 0.40 AW-5：1.69*0.485 = 0.81 計 = 1.21 O.K
会議室倉庫 24.43		(室)		(室)		平12建告1436号第四号(ﾊ) (床100㎡以下かつ防煙壁で区画)
階段下倉庫 19.74		(室)		(室)		同　上
湯沸室 4.83		(室)		(室)		同　上
男子ＷＣ 12.25		(室)		(室)		同　上
女子ＷＣ 18.60		(室)		(室)		同　上
多機能ＷＣ 8.30		(室)		(室)		同　上
消防車輌庫 50.00		(室)		(室)		同　上
水防倉庫 31.25		(室)		(室)		同　上

２階　ＬＶＳチェック

（各居室，室の床㎡は別図「求積図」による。）

部位名 / 床面積	(居室のみ) 必要面積	採光（採光補正係数＝3）	(居室のみ) 必要面積	換気	必要面積	排煙（防煙区画毎）
ホール 17.59		(室)		(室)	1/50 0.65 (=32.36/50)	※ホール＋女子ＷＣ：一体防煙区画 ﾎｰﾙ側有効開口㎡=0.4214㎡(A-45図/展開図(5)参照) ＞ﾎｰﾙ床17.59㎡/50=0.35㎡ よって，ﾎｰﾙ側開口部は女子WCと排煙上有効に開放されている。
女子ＷＣ 14.77		(室)		(室)		AW-13：0.60*0.485*3 = 0.873＞0.65 O.K
男子ＷＣ 12.28		(室)		(室)		平12建告1436号第四号(ﾊ) (床100㎡以下かつ防煙壁で区画)
消防局事務室･廊下 197.49	1/20 9.87	AW-16: 1.69*(0.70+0.70)*2*3 = 14.19 1.64*0.70*2*3 = 6.88 計 = 21.07 O.K	1/20 9.87	AW-16: 1.69*0.70*2+1.64*0.70*2 = 4.66 AW-17: 1.69*0.70*3+1.64*0.70*3 = 6.99 計 = 11.65 O.K	1/50 3.95	AW-16: 1.69*0.485*2 = 1.63 AW-17: 1.69*0.485*3 = 2.45 計 = 4.08 O.K
局長室 23.64	1/20 1.19	AW-9: (1.68+1.57)*0.35*3 = 3.41 (1.68*1.90+1.57*1.135)*3= 14.92 計 = 18.33 O.K	1/20 1.19	AW-9: (1.68+1.57)*0.35 = 1.13 1.68/2*1.90+1.57/2*1.135= 2.48 計 = 3.62 O.K	1/50 0.48	AW-9: (1.68+1.57)*0.35 = 1.13 O.K
災害対策室(市) 40.10	1/20 2.01	AW-15: 1.69*1.50*3*3 = 22.81 O.K	1/20 2.01	AW-15: 1.69/2*1.50*3 = 3.80 O.K	1/50 0.81	AW-15: 1.69/2*0.485*3 = 1.22 O.K
情報通信室(市) 10.20	1/20 0.51	AW-14: 0.60*1.185*2*3 = 4.26 O.K	1/20 0.51	AW-14: 0.60*1.185*2 = 1.42 O.K	1/50 0.21	AW-14: 0.60*0.485*2 = 0.58 O.K

２階　ＬＶＳチェック

（各居室，室の床㎡は別図「求積図」による。）

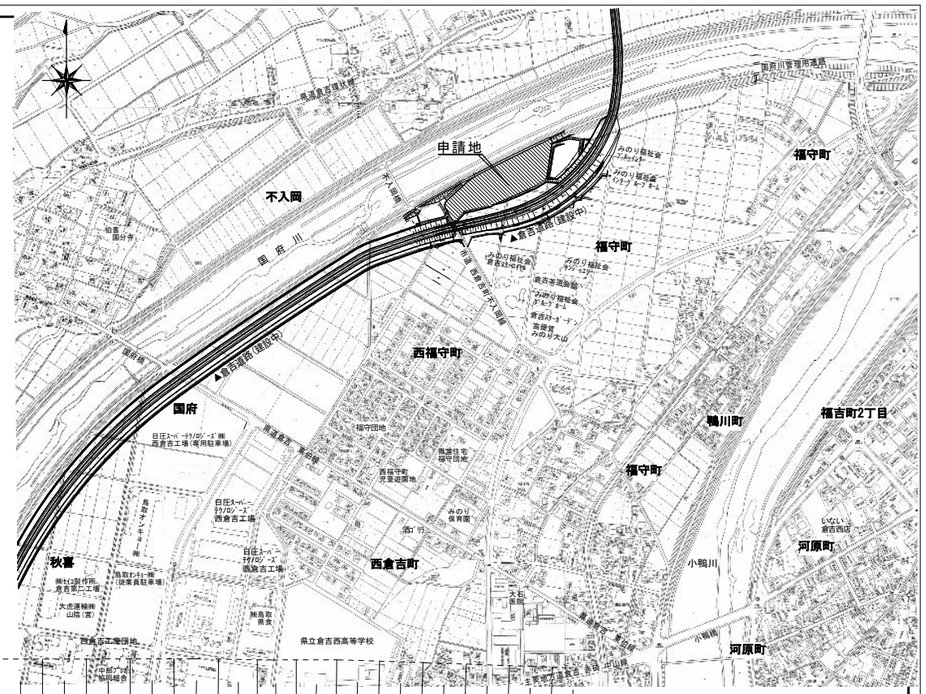
部位名 / 床面積	(居室のみ) 必要面積	採光（採光補正係数＝3）	(居室のみ) 必要面積	換気	必要面積	排煙（防煙区画毎）
応接相談室 20.23	1/20 1.02	AW-10: 1.69*0.35*2*3 = 3.54 1.69*(1.135+1.90)*3 = 15.38 計 = 18.92 O.K	1/20 1.02	AW-10: 1.69*0.35*2 = 1.18 1.69/2*(1.135+1.90) = 2.56 計 = 3.74 O.K	1/50 0.41	AW-10: 1.69*0.35*2 = 1.18 O.K
会議室 21.91	1/20 1.10	AW-11: 1.69*0.35*2*3 = 3.54 1.69*(1.135+1.90)*3 = 15.38 計 = 18.92 O.K ※移動間仕切壁収納時のLVSは上記2居室のﾁｪｯｸにより，O.K。	1/20 1.10	AW-11: 1.69*0.35*2 = 1.18 1.69/2*(1.135+1.90) = 2.56 計 = 3.74 O.K	1/50 0.44	AW-11: 1.69*0.35*2 = 1.18 O.K
更衣室(男) 10.58		(室)		(室)		平12建告1436号第四号(ﾊ) (床100㎡以下かつ防煙壁で区画)
更衣室(女) 6.31		(室)		(室)		同　上
書庫 17.09		(室)		(室)		同　上
防火衣ﾛｯｶｰ室 13.35		(室)		(室)		同　上
物入 0.80		(室)		(室)		同　上
湯沸室 6.88		(室)		(室)		同　上
印刷室 8.50		(室)		(室)		同　上

３階　ＬＶＳチェック

（各居室，室の床㎡は別図「求積図」による。）

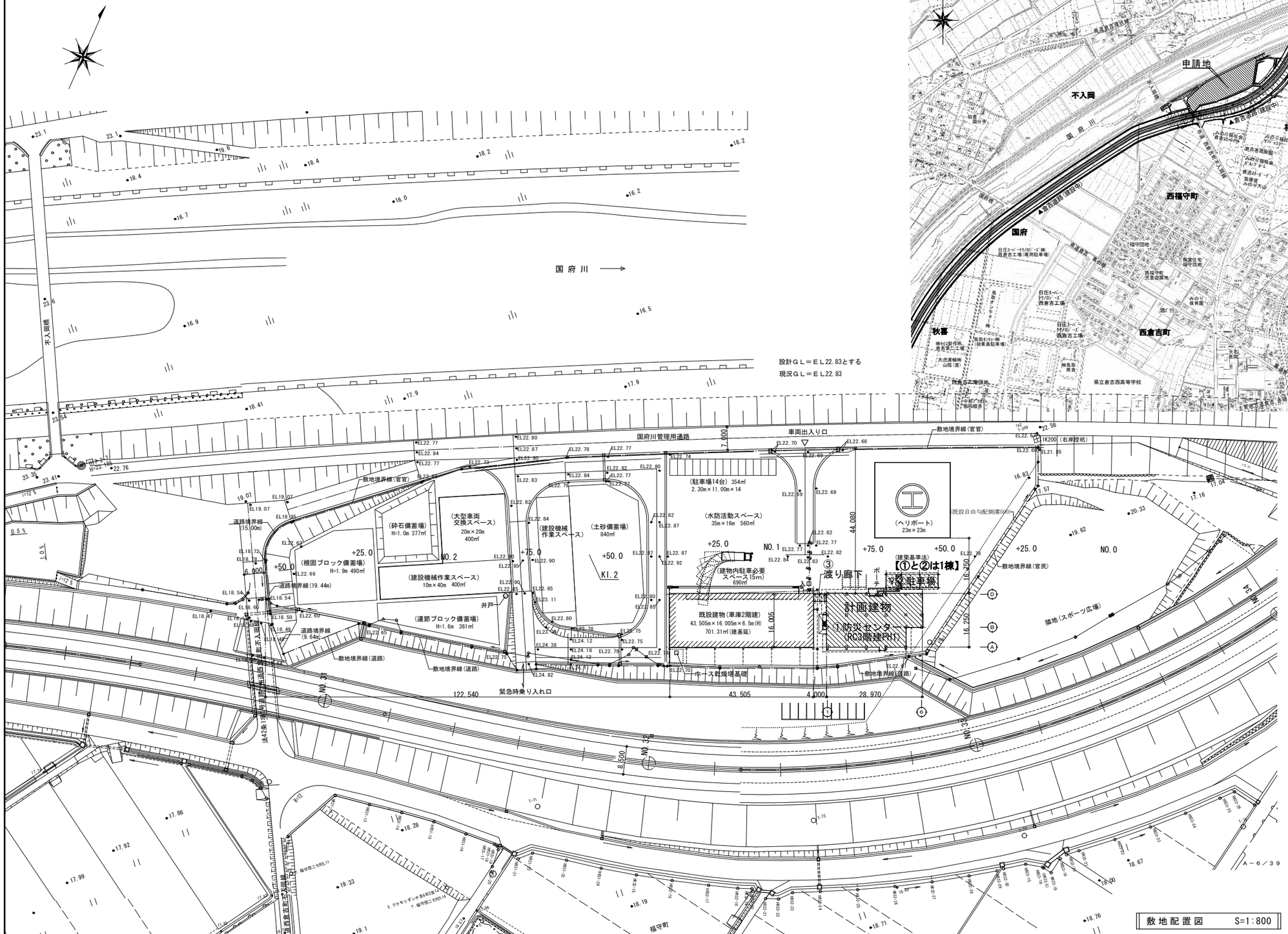
部位名 / 床面積	(居室のみ) 必要面積	採光（採光補正係数＝3）	(居室のみ) 必要面積	換気	必要面積	排煙（防煙区画毎）
ホール 12.36		(室)		(室)	1/50 0.25	天井排煙装置600(R階平面･3階天井伏図) 排煙面積 =0.29㎡ (部分詳細図(2)) O.K
廊下 52.87		(室)		(室)	1/50 1.06	天井排煙装置900(R階平面･3階天井伏図) 排煙面積 =0.70㎡ (部分詳細図(2)) AD-4：1.45*0.335 = 0.48 計 = 1.18 O.K
食堂･休憩室 27.10	1/20 1.36	AW-23: 1.69*(1.585-0.10)*2*3 = 15.05 O.K	1/20 1.36	AW-23: 1.69*0.35*2+1.69/2*1.135*2 = 3.10 O.K	1/50 0.55	AW-23: 1.69*0.35*2 = 1.18 O.K
仮眠室(1～5) 8.00	1/20 0.40	AW-21(22): 0.45*(1.585-0.10)*3 = 2.00 O.K	1/20 0.40	AW-21(22): 0.45*(1.585-0.10) = 0.66 O.K	1/50 0.16	AW-21(22): 0.45*0.485 = 0.21 O.K
災害対策室 60.42	1/20 3.03	AW-27: 1.605*(0.70+0.70)*3 = 6.74 (1.605-0.05)*0.70*3 = 3.26 計 = 10.00 O.K	1/20 3.03	AW-27: 1.605*0.70+(1.605-0.05)*0.70 = 2.21 1.61*0.70+(1.61-0.05)*0.70 = 2.21 計 = 4.42 O.K	1/50 1.21	AW-27: 1.605*0.485+1.61*0.485 = 1.55 O.K
指令室 87.10	1/20 4.36	AW-17: 1.69*(0.70+0.70)*3*3 = 21.29 (1.69-0.05)*0.70*3*3 = 10.33 計 = 31.62 O.K	1/20 4.36	AW-17: (1.69*0.70+(1.69-0.05)*0.70)*3 = 6.99 O.K	1/50 1.75	AW-17: 1.69*0.485*3 = 2.45
ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ 13.60		(室)		(室)		平12建告1436号第四号(ﾊ)(床100㎡以下かつ防煙壁で区画)
喫煙室 4.85		(室)		(室)		同　上
物置き 22.32		(室)		(室)		同　上
男子ｼｬﾜｰ室 7.04		(室)		(室)		同　上
女子ｼｬﾜｰ室 8.53		(室)		(室)		同　上
男子WC 10.10		(室)		(室)		同　上
女子WC 5.50		(室)		(室)		同　上
洗濯室(男) 3.33		(室)		(室)		同　上
洗濯室(女) 3.40		(室)		(室)		同　上
機械室 44.50		(室)		(室)		同　上
物入 0.90		(室)		(室)		同　上
WC用物入 0.90		(室)		(室)		同　上

附記	設計年月日 H25．2．．．	共同企業体名称 フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	代表者 ㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	名称 防災センター新築工事（建築主体） 法規チェック(2)	SCALE	図面No. A－7／84 枚の内



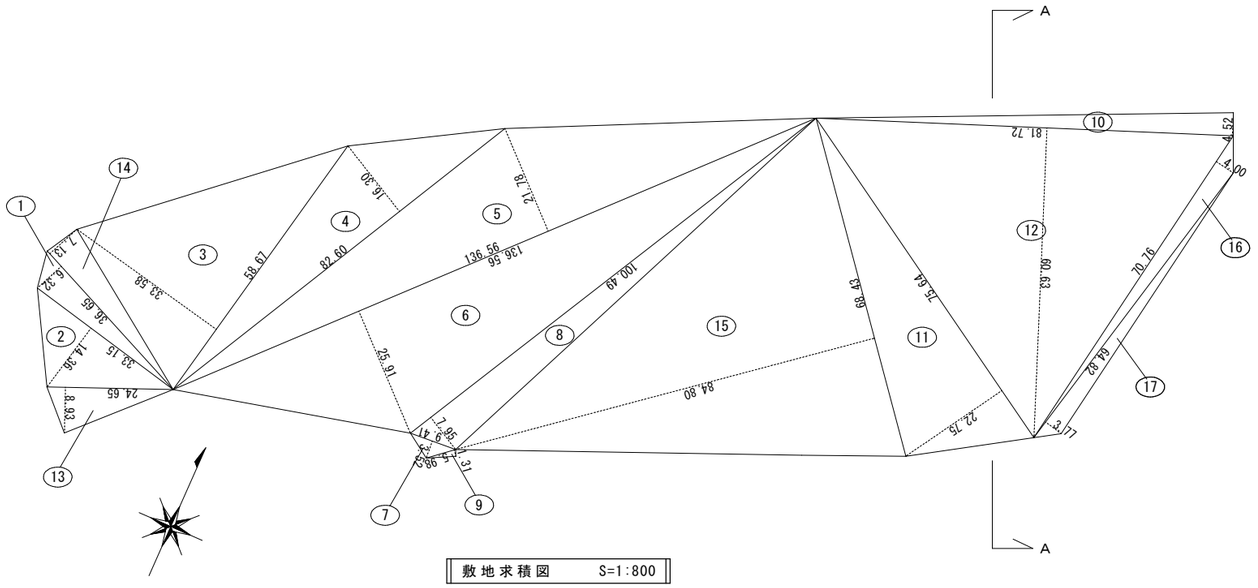
付近見取図

申請地：鳥取県倉吉市福守町415番地の2
（都市計画区域内・工業地域）



敷地配置図　S=1:800

附記	設計年月日 H25．2．． 共同企業体名称	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	代表者 (有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858 (24) 6688　FAX 0858 (24) 6689	管理建築士 1級建築士 第149753号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	名称 防災センター新築工事（建築主体） 付近見取図・敷地配置図	SCALE 1:800 (A3版 1:1200)	図面No. A－8／84 枚の内

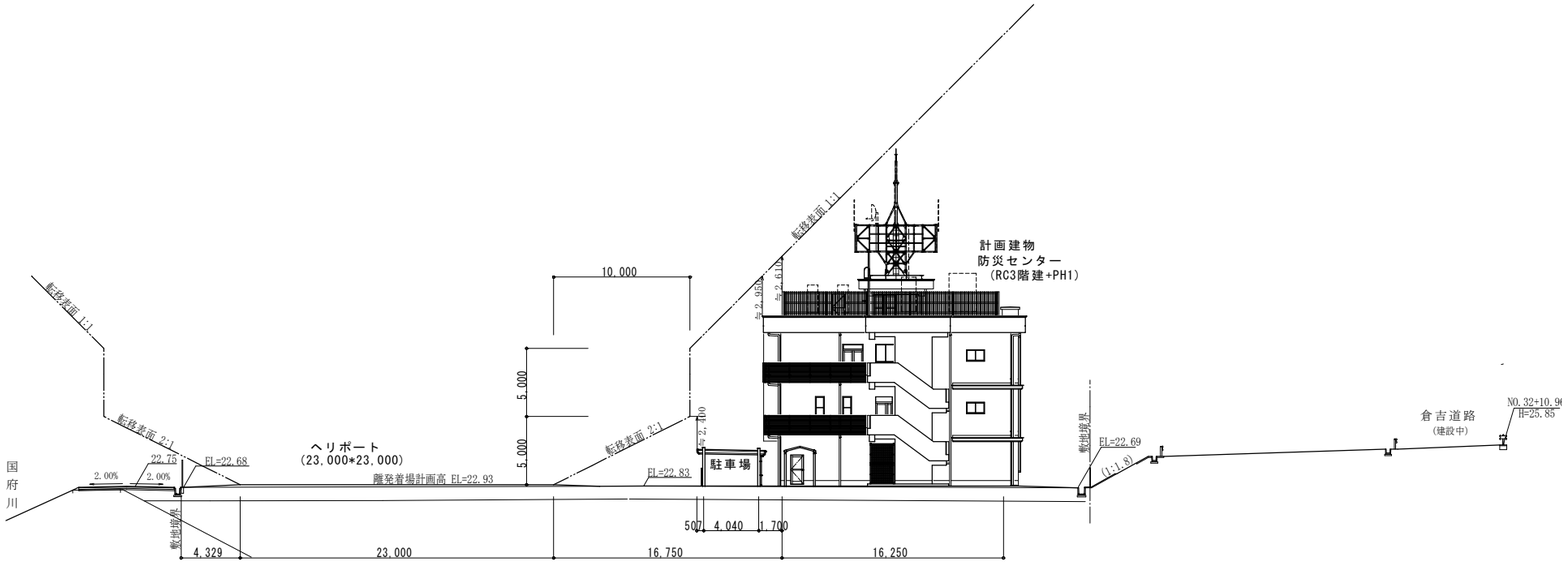


敷地求積表

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	36.65	6.32	231.6280	115.81400
2	33.15	14.36	476.0340	238.01700
3	58.67	33.58	1,970.1386	985.06930
4	82.60	16.30	1,346.3800	673.19000
5	136.56	21.78	2,974.2768	1,487.13840
6	136.56	25.91	3,538.2696	1,769.13480
7	9.41	3.52	33.1232	16.56160
8	100.49	7.95	798.8955	399.44775
9	5.98	1.31	7.8338	3.91690
10	81.72	4.52	369.3744	184.68720
11	75.64	22.75	1,720.8100	860.40500
12	81.72	60.63	4,954.6836	2,477.34180
13	24.65	8.93	220.1245	110.06225
14	36.65	7.13	261.3145	130.65725
15	68.43	84.80	5,802.8640	2,901.43200
計				12,352.8753
敷地面積				12,352.88 ㎡

16	70.76	4.00	283.0400	141.5200
17	64.82	3.77	244.3714	122.1857
計				263.7057
敷地面積				263.71 ㎡

敷地面積合　計	12,616.59 ㎡



● Ａ－Ａ敷地断面図　S=1/300

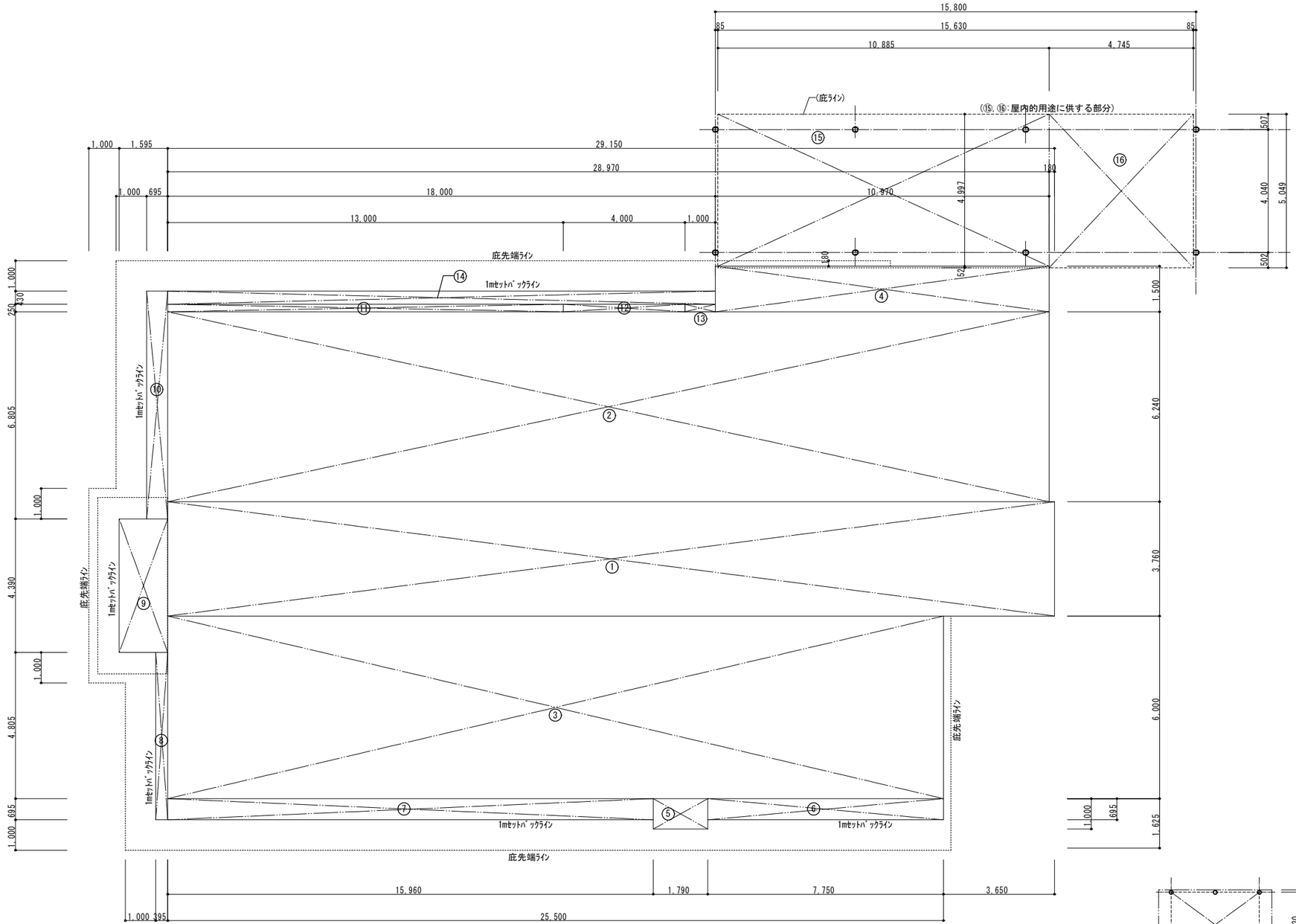
■建築面積（㎡）

	既設建物（国交省車輌庫）	①庁舎棟	②駐車場棟	③渡り廊下棟	合　計
		504.71	78.35	6.18	
合計	670.68			589.24	1,259.92

■床面積（㎡）

	既設建物（国交省車輌庫）	①庁舎棟	②駐車場棟	③渡り廊下棟	合　計
ＰＨ		26.88			
３階		444.01			
２階	55.17	461.63			
１階	646.14	440.30	91.96	0.00	
棟毎計	701.31	1,372.82	91.96	0.00	
合　計	701.31	(1棟)		1,464.78	2,166.09

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳	名称	SCALE	図面No.
	H25．2．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	(有)フジイ総合設計事務所	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠	防災センター新築工事（建築主体）	1:800	A－9
	．．		〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	製図 1級建築士 第　号	求積図(1)(敷地求積・面積表)	(A3版 1:1200)	84 枚の内



建築面積求積図　S=1:100

(①庁舎棟+②駐車場棟)

(③渡り廊下棟求積図　S=1:100)

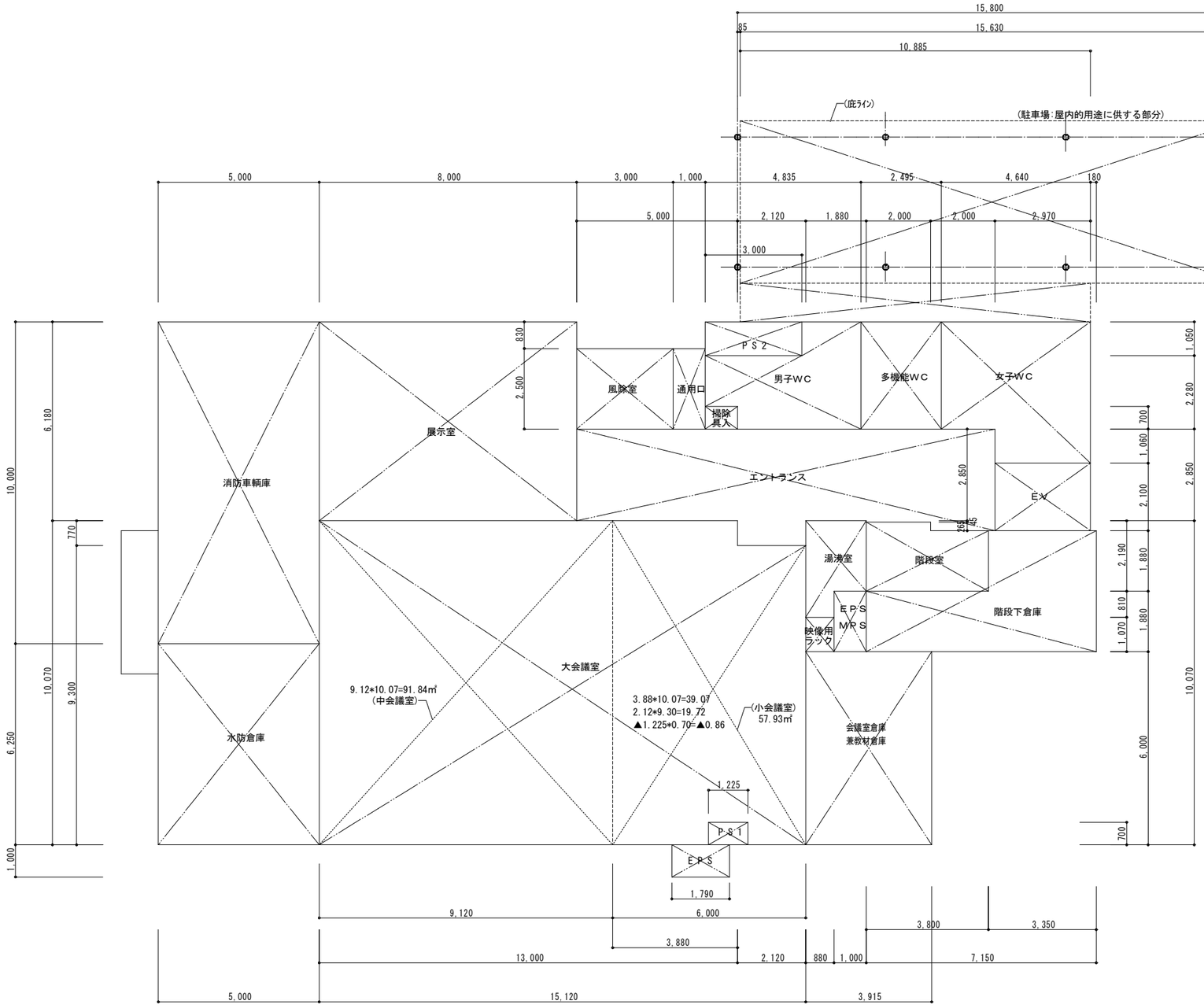
建築面積表		
室名	計算式	床面積(㎡)
①	29.1500*3.7600=109.604	109.60
②	28.9700*6.2400=180.7728	180.77
③	25.5000*6.0000=153.0000	153.00
④	10.9700*1.5000=16.4550	16.46
⑤	1.7900*1.0000=1.7900	1.79
⑥	7.7500*0.6950=5.3862	5.39
⑦	15.9600*0.6950=11.0922	11.09
⑧	0.3950*5.5000=2.1725	2.17
⑨	1.5950*4.3900=7.0020	7.00
⑩	0.6950*7.4850=5.2020	5.20
⑪	13.0000*0.2500=3.2500	3.25
⑫	4.0000*0.2500=1.0000	1.00
⑬	1.0000*0.2500=0.2500	0.25
⑭	18.0000*0.4300=7.7400	7.74
小計		504.71
⑮	10.885*4.9970=54.3923	54.39
⑯	4.745*5.0490=23.9575	23.96
小計		78.35
合計		583.06

建築面積表		
室名	計算式	床面積(㎡)
渡り廊下	2.90*2.13=6.177	6.18
合計		6.18

床面積表		
室名	計算式	床面積(㎡)
渡り廊下		0.00
合計	(十分に外気に開放されている) (屋内的用途に供しない)	0.00

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士　第145757号　藤井泰徳 製図 1級建築士　第325872号　竹中誠 製図 1級建築士　第　号	名称	SCALE
	H25．2． ．　．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	(有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688　FAX 0858(24)6689		防災センター新築工事（建築主体） 求積図(2)(建築面積)	1:100 (A3版 1:150)

図面No. A－10／84 枚の内

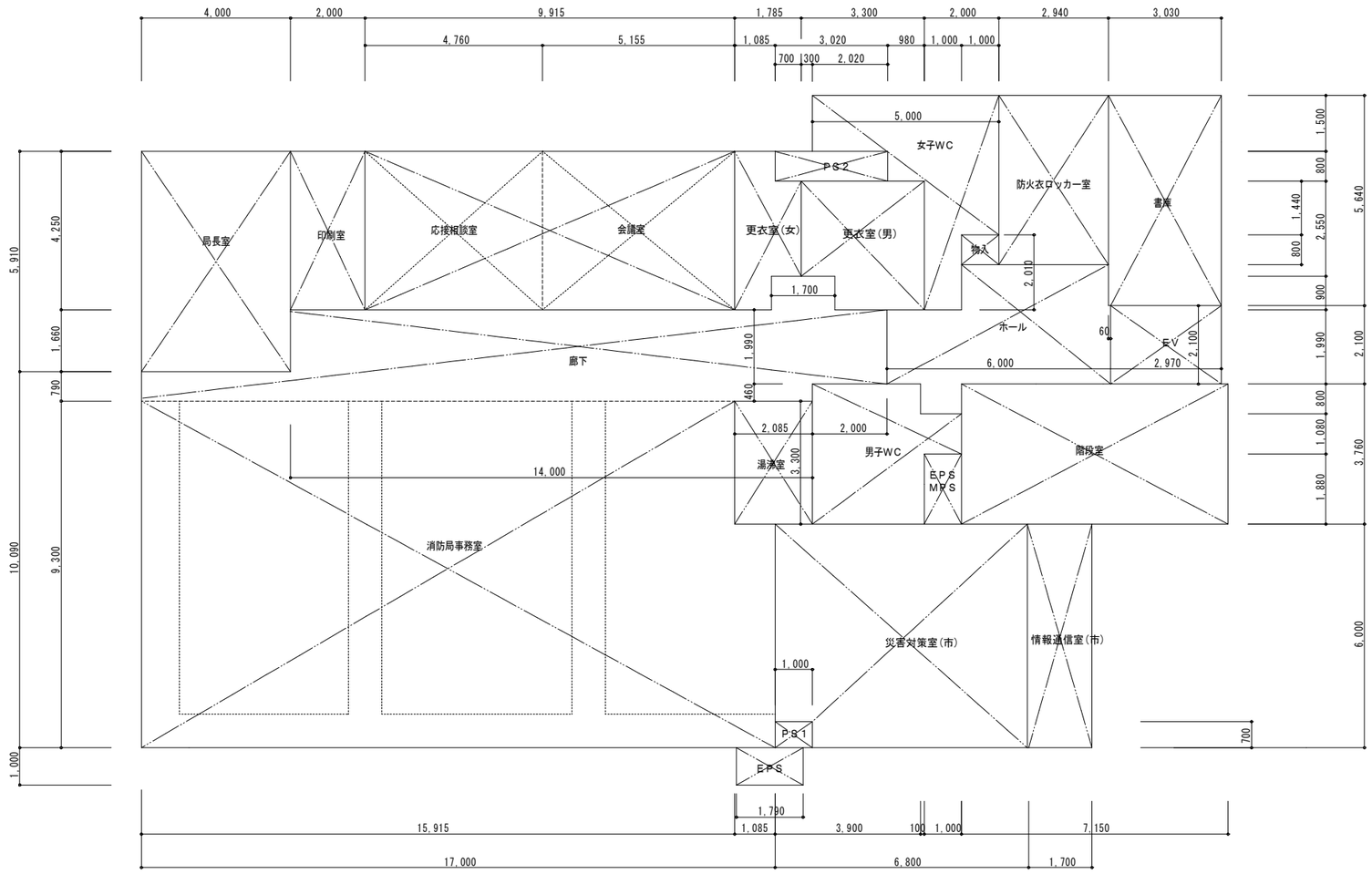


１階床面積求積図　S=1:100

(①庁舎棟+②駐車場棟)

1階床面積表		
室名	計算式	床面積(㎡)
風除室	3.000*2.500=7.5000	7.50
通用口	1.000*2.500=2.5000	2.50
ｴﾝﾄﾗﾝｽ	5.000*2.850=14.2500	
	2.120*3.620=7.6744	
	1.880*2.850=5.358	
	2.000*2.895=5.7900	
	2.000*3.160=6.3200	
	14.25+7.6744+5.358+5.79+6.32=39.3924	39.39
掃除具入	1.00*0.700=0.7000	0.70
展示室	8.000*6.180=49.4400	49.44
PS1	1.225*0.70=0.8575	0.86
大会議室	15.120*9.300=140.6160	
	13.000*0.770=10.0100	
	140.6160+10.01-0.8575=149.7725	149.77
映像用ラック	0.880*1.070=0.9416	0.94
会議室倉庫兼教材倉庫	3.915*6.000=23.4900	23.49
水防倉庫	5.000*6.250=31.2500	31.25
消防車輌庫	5.000*10.000=50.0000	50.00
PS2	3.00*1.05=3.1500	3.15
男子WC	4.835*3.330=16.10055	
	16.10055-0.70-3.1500=12.2505	12.25
女子WC	4.640*3.330=15.4512	
	2.970*1.060=3.1482	
	15.4512+3.1482=18.5994	18.60
多機能WC	2.495*3.330=8.3083	8.30
湯沸室	1.880*2.190=4.1172	
	0.880*0.810=0.7128	
	4.1172+0.7128=4.8300	4.83
階段室	3.800*1.880=7.1440	
	2.000*0.265=0.5300	
	7.144+0.53=7.68	7.68
階段下倉庫	3.350*3.760=12.5960	
	3.800*1.880=7.1440	
	12.5960+7.1440=19.7400	19.74
EV	2.970*2.100=6.2370	6.24
EPS･MPS	1.000*1.880=1.8800	1.88
EPS	1.790*1.000=1.7900	1.79
小計		440.30
駐車場	15.63*5.049=78.91587	
	10.885*1.198=13.04023	
	78.91587+13.04023=91.9561	91.96
小計		91.96
合計		532.26

附記	設計年月日 H25．2．．．	共同企業体名称 フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	代表者 (有)フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	名称 防災センター新築工事（建築主体） 求積図(3)(1階床面積)	SCALE 1:100 (A3版 1:150)	図面No. A－11 84枚の内

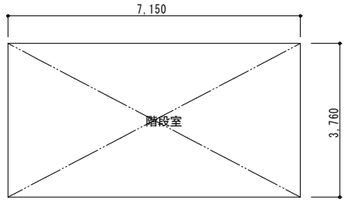


２階床面積求積図　S=1:100

（①庁舎棟）

2階床面積表			
室名	計算式	床面積(㎡)	(居室㎡)
消防局事務室	15.915*9.30=148.0095		
	1.085*6.00=6.5100		
	148.0095+6.51=154.5195	154.52	
廊下	4.00*0.79=3.1600		
	14.00*2.450=34.300		
	1.70*0.90=1.5300		
	2.00*1.99=3.9800		
	3.16+34.300+1.53+3.98=42.97	42.97	
		197.49	197.49
局長室	4.000*5.910=23.6400	23.64	23.64
印刷室	2.000*4.250=8.5000	8.50	
応接相談室 会議室	9.915*4.250=42.13875	42.14	42.14
更衣室(男)	3.300*2.550=8.4150		
	2.400*0.900=2.1600		
	8.415+2.16=10.5750	10.58	
更衣室(女)	1.085*0.800=0.868		
	1.785*2.550=4.55175		
	0.985*0.900=0.8865		
	0.868+4.55175+0.8865=6.30625	6.31	
防火衣ﾛｯｶｰ室	2.940*4.540=13.3476	13.35	
書庫	3.030*5.640=17.0892	17.09	
PS1	1.000*0.700=0.7000	0.70	
災害対策室(市)	6.800*6.000-0.700=40.100	40.10	40.10
情報通信室(市)	1.700*6.000=10.2000	10.20	10.20
男子WC	2.900*0.800=2.3200		
	4.000*1.080=4.3200		
	3.000*1.880=5.6400		
	2.32+4.32+5.64=12.2800	12.28	
女子WC	5.000*1.500=7.5000		
	2.980*0.800=2.3840		
	2.000*1.440=2.8800		
	1.000*2.010=2.0100		
	7.50+2.384+2.88+2.01=14.774	14.77	
物入	1.000*0.800=0.8000	0.80	
湯沸室	2.085*3.300=6.8805	6.88	
階段室	7.150*3.760=26.8840	26.88	
EV	2.970*2.100=6.2370	6.24	
EPS･MPS	1.000*1.880=1.8800	1.88	
PS2	3.020*0.800=2.4160	2.42	
EPS	1.790*1.000=1.7900	1.79	
ﾎｰﾙ	1.100*0.800=0.8800		
	2.000*1.990=3.9800		
	3.940*3.200=12.6080		
	0.06*2.100=0.1260		
	0.88+3.98+12.6080+0.126=17.594	17.59	
合計		461.63	313.57

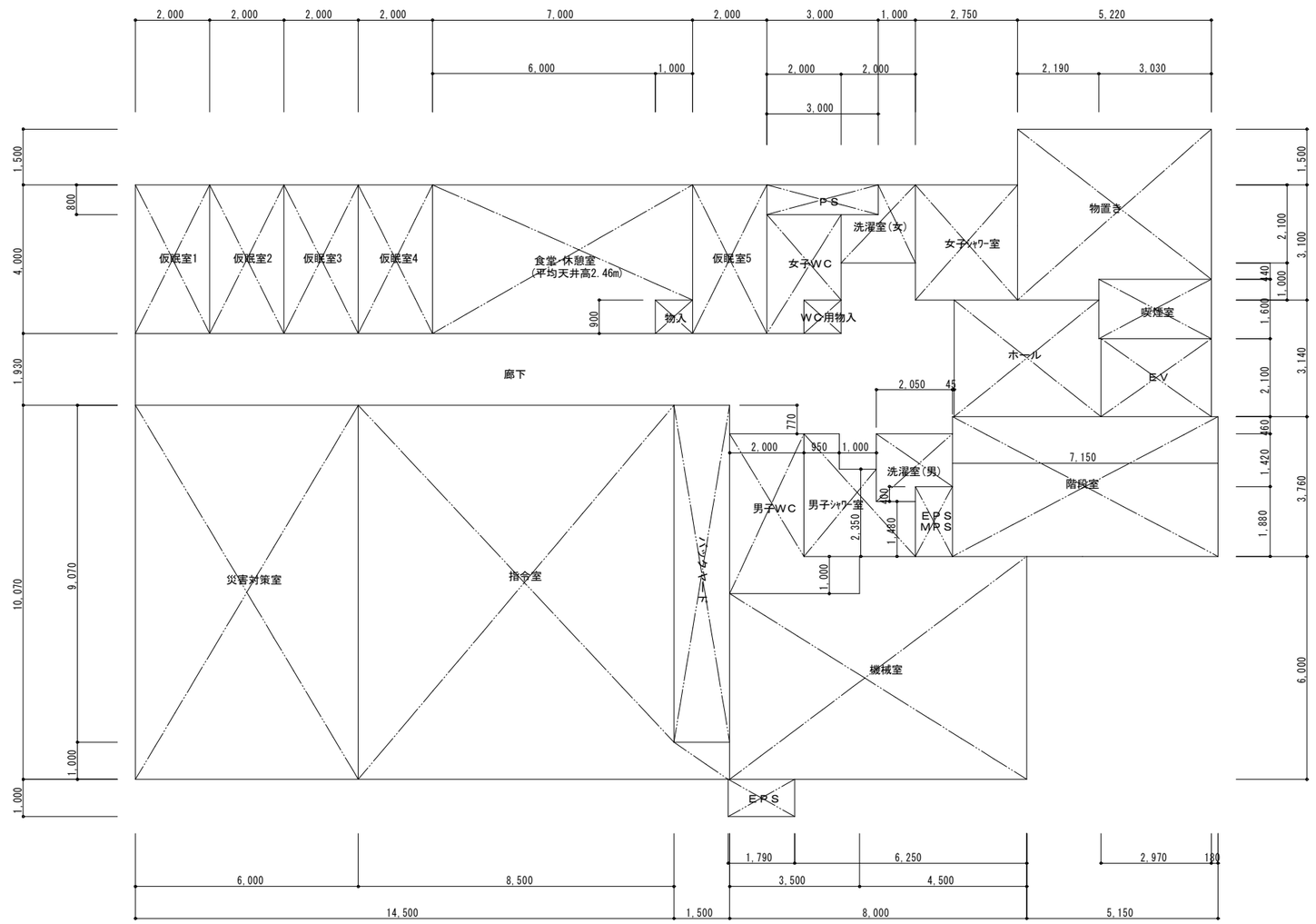
附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳	名称	SCALE	図面No.
	H25．2． ．．	フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	防災センター新築工事（建築主体） 求積図(4)(2階床面積)	1:100 (A3版1:150)	A－12 84枚の内



R階床面積表		
室名	計算式	床面積(㎡)
階段室	7.150*3.760=26.8840	26.88

ＰＨ階床面積求積図　S=1:100

（①庁舎棟）



３階床面積求積図　S=1:100

（①庁舎棟）

3階床面積表			
室名	計算式	床面積(㎡)	(居室㎡)
災害対策室	6.00*10.07=60.4200	60.42	60.42
指令室	8.50*10.07=85.5950		
	1.50*1.00=1.500		
	85.595+1.50=87.095	87.10	87.10
ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ	1.500*9.070=13.605	13.60	
食堂･休憩室	6.000*4.000=24.0000		
	1.000*3.100=3.1000		
	24.00+3.10=27.1000	27.10	27.10
仮眠室1	2.000*4.000=8.0000	8.00	8.00
仮眠室2	2.000*4.000=8.0000	8.00	8.00
仮眠室3	2.000*4.000=8.0000	8.00	8.00
仮眠室4	2.000*4.000=8.0000	8.00	8.00
仮眠室5	2.000*4.000=8.0000	8.00	8.00
機械室	3.500*5.000=17.5000		
	4.500*6.000=27.0000		
	17.50+27.00=44.50	44.50	
物置	2.190*4.600=10.0740		
	3.030*4.040=12.2412		
	10.0740+12.2412=22.3152	22.32	
女子ｼｬﾜｰ室	2.750*3.100=8.525	8.53	
男子ｼｬﾜｰ室	0.950*0.950=0.9025		
	1.950*0.870=1.6965		
	3.000*1.480=4.440		
	0.9025+1.6965+4.440=7.0390	7.04	
男子WC	2.000*3.300=6.6000		
	3.500*1.000=3.5000		
	6.60+3.50=10.10	10.10	
女子WC	2.000*2.300=4.6000		
	1.000*0.900=0.9000		
	4.60+0.90=5.50	5.50	
洗濯室(男)	1.050*1.820=1.9110		
	1.000*1.420=1.4200		
	1.911+1.42=3.3310	3.33	
洗濯室(女)	2.000*1.300=2.6000		
	1.000*0.800=0.8000		
	2.60+0.80=3.40	3.40	
喫煙室	3.030*1.600=4.8480	4.85	
階段室	7.150*3.760=26.8840	26.88	
EV	2.970*2.100=6.2370	6.24	
ﾎｰﾙ	3.895*1.040=4.0508		
	3.955*2.100=8.3055		
	4.0508+8.3055=12.3563	12.36	
物入	1.000*0.900=0.9000	0.90	
WC用物入	1.000*0.900=0.9000	0.90	
EPS･MPS	1.000*1.880=1.8800	1.88	
EPS	1.790*1.000=1.7900	1.79	
PS	3.000*0.800=2.4000	2.40	
廊下	16.000*1.930=30.8800		
	1.000*0.950=0.9500		
	6.000*0.460=2.7600		
	6.045*2.240=13.5408		
	3.045*0.900=2.7405		
	2.000*1.000=2.0000		
	30.88+0.95+2.76+13.54+2.74+2.0=52.87	52.87	
合計		444.01	214.62

附記	設計年月日 H25．2．．．	共同企業体名称 フジイ･ミュー･小谷･特定委託業務共同企業体	代表者 ㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第　号	名称 防災センター新築工事（建築主体） 求積図(5)(3階･PH階床面積)	SCALE 1:100 (A3版 1:150)	図面No. A－13／84 枚の内

外部仕上表　[①棟:防災センター(庁舎)]

陸屋根(R階)	あ	平場:保護(軽量)ｺﾝｸﾘｰﾄ80t(+溶接金網φ6-100目)金ごて仕上　(+成形伸縮目地材25t*80 +ｱｽﾌｧﾙﾄ屋根保護防水(A-1)密着工法　付着層ﾀｲﾌﾟ) +ｺﾝｸﾘｰﾄ(ｽﾗﾌﾞ面)金ｺﾃﾞ押え下地 立上(6通ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ除く):ｱｽﾌｧﾙﾄ屋根露出防水(D-2)絶縁工法 (天端防水押えｱﾝｸﾞﾙ: +ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地　既製ｱﾙﾐ製L-30*15*2.0) (平場との防水層重ねｼﾛ=500　/部分詳細図(1)参照)
		・CON基礎(設備用・旗ﾎﾟｰﾙ用・目隠しﾙｰﾊﾞｰ用・鉄塔用)　/PH・R階平面図,構造図参照 :基礎天端-塗膜防水(X-2)密着工法ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　表面塗料ｼﾘｺﾊﾞｰ (見付部分共)(笠底面はｺﾝｸﾘｰﾄ打放し)(基礎立上面は上記立上による。)
		・ﾊﾄ小屋ﾕﾆｯﾄ:上部ﾕﾆｯﾄFRP製,中間・下部ﾕﾆｯﾄFRC製,専用ｽﾘｰﾌﾞ材(ｺｱ抜・墨出・配管取出は別途工事) 【ﾊﾄｺｯﾄVH-I/昭和電工建材㈱】
		・排煙装置ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ:断熱防露排煙型900・600, ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ,ｶﾞﾘｶｰﾎﾞﾈｯﾄﾄﾞｰﾑ(二重),網入型板ｶﾞﾗｽ6.8t 開閉用装置,ﾌﾚｰﾑ外周部断熱材入　【ﾗｲﾄﾓﾆｯｸLM-AHD型900・600/三洋工業㈱】 (部分詳細図(2)参照)　(断熱防露排煙型ﾎﾞﾙﾄﾚｽ仕様)
箱樋(R階)	い	平場:改質ｱｽﾌｧﾙﾄ系常温工法防水(露出 塗膜ｼｰﾄ密着工法/塗膜約1.8t) ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ仕上 +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打100～50t)金ｺﾃﾞ押え下地 立上(内面):平場部同材仕様　+ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し面下地 (屋根平場部との防水層重ねｼﾛ=500/部分詳細図(1)参照) 立上(6通ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ)共
陸屋根(PH階)	う	平場:改質ｱｽﾌｧﾙﾄ系常温工法防水(露出 塗膜ｼｰﾄ密着工法/塗膜約1.8t) ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ仕上 +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打50～0t)金ｺﾃﾞ押え下地 立上(内面):平場部同材仕様　+ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し面下地
屋根(EPS)	え	塗膜防水(X-2)密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 表面塗料ｼﾘｺﾊﾞｰ　(見付部分共) +ｺﾝｸﾘｰﾄ(勾配)押え下地
庇	お	平場・立上:塗膜防水(X-2)密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 表面塗料ｼﾘｺﾊﾞｰ +平場:ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打・勾配)金ごて押え下地 +立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打10t)打放し下地 排水溝:平場防水同材　+ﾓﾙﾀﾙ金ごて押え(勾配) 端部:ｱﾙﾐ製(陰影)笠木W250, PU-2(10*10)　【ｱｰｷﾃﾌﾞﾚｲﾄﾞ/ABC商会】 庇見付:外壁「ち」同様, 庇裏:軒天(ｽﾗﾌﾞ面)「き」同様
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木	か	ｱﾙﾐ製笠木W250 +ｱﾙﾐ製化粧ﾎﾞｰﾀﾞｰW65*H90 ,ｺｰﾅｰ専用部材　【MA-250,DK-303/ABC商会】
軒天(ｽﾗﾌﾞ面)	き	外装薄塗材E吹付　/下地調整:目違いｻﾝﾀﾞｰ掛け +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地
軒天(軽天地)	く	EP塗り　+ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ5.0t(目透し)張り下地 +LGS25型天井下地組 ｱﾙﾐ製廻縁
軒天(本体ﾎﾟｰﾁ)	け	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ・外部用)　+耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り +LGS25型天井下地組 ｱﾙﾐ製廻縁,　ｱﾙﾐ製下端水切材W70　【UL-70/ABC商会】
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	位置は各階平面図による	鋳鉄製φ100(屋上用・たて引・ねじ込み式・防水層張ｼﾛ60mm仕様)　/R階箱樋・PH屋上　【WSP-2/ｶﾈｿｳ】 鋳鉄製φ100(中継ﾄﾞﾚﾝ・たて引・ねじ込み式・防水層張ｼﾛ60mm仕様・水はね防止型)　/庇　【WSJ-2/ｶﾈｿｳ】 鋳鉄製φ100(屋上用・よこ引・ねじ込み式・防水層張ｼﾛ50mm仕様)　/3F室外機置場・R階箱樋　【EXS/ｶﾈｿｳ】 鋳鉄製φ75 (ﾊﾞﾙｺﾆｰ用・たて引・ねじ込み式・防水層張ｼﾛ幅広ﾀｲﾌﾟ)　/ﾊﾟﾗﾝﾀﾞ・屋外階段　【WMR-2/ｶﾈｿｳ】 ｼｰﾘﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ:SUS304品・100・75　(天井伏図参照)　【KS-9/ｶﾈｿｳ】
飾り桝	こ	SUS304(HL)ﾍﾞｲﾌﾞ型飾り桝100(ｾﾗﾐｯｸ塗装品)　【XS-2-100/ｶﾈｿｳ】
樋	さ	ｶﾗｰVP φ100, 掴み金物SUS製@1,200 呼樋(ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ):ｶﾗｰVP φ75
通信鉄塔	し	屋上式4.0m　鉄骨(溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上) (鉄塔詳細図参照)
旗ﾎﾟｰﾙ(R階)	す	屋上用ﾛｰﾌﾞﾀｲﾌﾟ, 鋳物ﾍﾞｰｽ式, 先端ｷｬｯﾌﾟ・滑車ﾎﾙﾀﾞｰ, ｸﾘｰﾄ(ﾛｰﾌﾟ掛け),ｱﾝｶｰM20-L500 ﾎﾟｰﾙH=5,000(根本径φ120, 先端径φ75)　【RP-Bcz/昭光通商㈱】 (部分詳細図(1)参照)
塔屋ﾀﾗｯﾌﾟ	せ	SUS製(ｱﾝｶｰ先付ﾀｲﾌﾟ)-W400*(H1,600+H1,050)　φ32*2.0t, φ19*1.5t ,SUS製FB-6t*50(M10*35ﾎﾞﾙﾄ), SUS製FB-10t*75(M10*40)　【KS-RTR400S-1 +KS-RTR40S-2/NASTA】 (部分詳細図(1)参照)

館名文字	そ	-1).SUS(焼付塗装)製　350×350×30ｔ(34文字)　【KS-TS-BM350ST/NASTA】 -2).SUS(焼付塗装)製　150×150×15ｔ(25文字)　【KS-TS-BM150ST/NASTA】
懸垂幕装置	た	W1,000*H10,000　下手巻き式　【MTST型・静音ﾀｲﾌﾟ/DAIKEN】 ﾌﾚｰﾑ,ｱﾝｶｰﾌﾞﾚｰﾄ,誘導・中間ﾊﾞﾄﾝ,上・下化粧板:SUS304(＃400研磨) ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ:SUSφ4, ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ:Gﾅｲﾛﾝｺﾞﾑ巻, 滑車:SUS304, ｳｲﾝﾁ:SUS製, M10-SUSｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ
外壁 (柱型・梁型・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ外面共)	ち	防水型複層塗材E吹付(凸凹模様)(▨は, 色替え)　/下地調整C-2 +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地 打継目地・誘発目地・化粧目地・構造ｽﾘｯﾄ
縦格子ﾙｰﾊﾞｰ(R階)	つ	ｱﾙﾐ製縦格子:□-100*50*1.2t-@150 (ｼﾙﾊﾞｰ)　【BLD-50E/ABC商会】 胴縁:C-100*50*20*3.2(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(+応力分散ゆるみ止固定(SBN)/縦格子止) 胴縁受:L-100*75*7(ﾋﾞｰｽ)(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(+SUS304-2-M12ﾎﾞﾙﾄ/胴縁止) 支柱:□-100*100*3.2(溶融亜鉛ﾒｯｷ), B.PL:12t*300*300, A.BOLT:4-M12・L=450・DN R.PL(柱脚):9t*100(溶融亜鉛ﾒｯｷ) 扉(2箇所):ﾌﾚｰﾑ(C-60*30*10*2.3/溶融亜鉛ﾒｯｷ),旗丁番(3点),握玉錠(内:ｼﾘﾝﾀﾞｰ・外:空錠) (縦格子ﾙｰﾊﾞｰ詳細図,構造図(鉄骨)参照)
縦格子ﾙｰﾊﾞｰ(3階)	て	ｱﾙﾐ製縦格子:□-120*60*1.2t-@230 (ｼﾙﾊﾞｰ)　【BLD-6012/ABC商会】 胴縁(上部1列):溝形鋼[-150*75*6.5(通し)(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(+応力分散ゆるみ止固定(SBN)/縦格子止) 胴縁受:L-100*100*7(ﾋﾞｰｽW150)(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(SUS304-M16ﾎﾞﾙﾄ/胴縁止) A.Bolt:1-M16,L=400,DN 胴縁(下部2列):C-100*50*20*3.2(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(+応力分散ゆるみ止固定(SBN)/縦格子止) 胴縁受:L-100*100*7(ﾋﾞｰｽW100)(溶融亜鉛ﾒｯｷ)(SUS304-M16ﾎﾞﾙﾄ/胴縁止) A.Bolt:1-M16,L=400,DN (平面詳細図(6)・矩計詳細図(6)・構造図(鉄骨)参照)
ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ手摺	と	ｱﾙﾐ製　横格子ﾙｰﾊﾞｰ持出し仕様品,　手摺笠木W130　【ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ手すりﾓﾀﾞﾝﾊﾞﾈﾙ/LIXIL】 支柱:ｱﾙﾐ型材56×56-@1,500 (ﾎﾞﾙﾄ工法仕様) (部分詳細図(1)参照)
ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ・ 3階室外機置場	な	床:塗膜防水(X-2)密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 表面塗料ｼﾘｺﾊﾞｰ +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打・勾配)金ごて下地 排水溝:床防水同材　+ﾓﾙﾀﾙ金ごて押え(勾配),W120 巾木:床同材仕様　+ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打10t)打放し面下地 (FL+100迄) 壁(柱型・梁型):外壁「ち」と同様 (部分詳細図(1)参照)
ﾎﾟｰﾁ	に	床:磁器質100角ﾀｲﾙ張り(ﾓﾙﾀﾙ下地・圧着張工法)　【ｸﾚﾄﾞ/INAX】 誘導・注意喚起用磁器質300角ﾀｲﾙ張り 排水ﾋﾟｯﾄ:ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞSUS製(蓋・枠共)(縦目・細目・250*499)　【DQ-W-A,SL-20/ｶﾈｿｳ】 ﾋﾟｯﾄ内:防水ﾓﾙﾀﾙ30t塗り(ﾋﾟｯﾄ幅200) ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石:地先境界ﾌﾞﾛｯｸA　120×120、ﾓﾙﾀﾙ10t・捨てｺﾝ50t・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ100t
根廻り	ぬ	ﾓﾙﾀﾙ金ごて仕上20ｔ　GL+400迄(～GL-150迄)
犬走り	ね	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて仕上
屋外階段	の	1階床:ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20～0t)金ごて仕上 蹴上・踏面・踊り場:防水ﾓﾙﾀﾙ30t金ごて仕上　(2,3階のFL部の床は,ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ「な」床仕様) 排水溝W100 段鼻:磁器質垂れ付段鼻ﾀｲﾙ100角, 無釉 巾木:防水ﾓﾙﾀﾙ金ごて仕上20t 壁:防水型複層塗材E吹付(凸凹模様)　/下地調整C-2 +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地 段裏:外装薄塗材E吹付　/下地調整:目違いｻﾝﾀﾞｰ掛け +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地 手摺:外部用・壁付・樹脂製(ｱﾙﾐ芯材)φ34-1段, ｱﾙﾐﾌﾞﾗｹｯﾄ　【ｸﾞﾗﾊﾝO-34G/ﾅｶ工業】 1階:ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ(粉黛塗装品)　【AR-A3000-MS, -A1000-MS, -A2000(扉)/朝日ｽﾁｰﾙ工業】 H2,970×W1,700　+(H1,000+門扉H1,970)×W965 扉:ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠対応型門扉(片開き)・ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠(内側のみｼﾘﾝﾀﾞｰ)・隙間防止ﾌﾟﾚｰﾄ (矩計詳細図(屋外階段)参照) 1階踊り場下:ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ100t化粧積み +外壁「ち」吹付 (最下段はCBあらわし) 3階:緩降機　固定式(床支持)9m　国家検定合格品　【ｵｰﾄｴｰｽ/上田消防建設㈱】 (調速機・ﾛｰﾌﾟ・着用具・ﾘｰﾙ) 屋外ﾈｯﾋﾞﾈｯﾄ・使用説明板

車椅子使用者用駐車施設の標識	は	既製品 (家具類詳細図(3)による。)
駐車場	ひ	既製品 (駐車場詳細図による。)
渡り廊下	ふ	既製品 (渡り廊下詳細図による。)

■ 特 記 事 項 ■

- **【 】書き(商品名・商標番号)は全て参考品とし,同等品以上の使用とする。**
  (同等品の使用は監督員と協議し承諾を得る事。)
- 各記号位置は「立面図」に示す。
- 外部開口部には,防水剤入ﾓﾙﾀﾙﾓﾙﾀﾙﾛ詰めを行う。
- 外部ｼｰﾘﾝｸﾞの種別
  - ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2)　35×10　:耐震ｽﾘｯﾄ部
  - ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2)　20×10　:打継目地・誘発目地・根廻ﾓﾙﾀﾙ天端・外部階段巾木天端
  - ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2)　15×10　:建具枠周囲(3方)
  - ・変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)　15×10　:建具水切下
  - ・変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)　10×10　:建具水切とｻｯｼ取合い部

  (上記以外の,金物との取合部等ｼｰﾘﾝｸﾞは各詳細図による。)

附記		設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳	名称	SCALE
		H25. 2.	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所	製図 1級建築士 第325872号 竹中誠	防災センター新築工事(建築主体)	図面No.
		. .		〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	製図 1級建築士 第　号	外部仕上表	A－14／84 枚の内

内部仕上表（１）

	室名	CH / FL	床	巾木	腰壁・壁・柱型 (RC地は，硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ面も含む。)	天井 ・下地は，特記無き限りLGS19型天井下地組。	廻縁	備考 ・下枠，沓摺は，SUS304(HL)1.5t*40Wとし，位置は「平面詳細図」による。
1階	風除室・通用口	2,710 ～2,735 / -10 ～-35	磁器質100角ﾀｲﾙ張り(ﾓﾙﾀﾙ下地・圧着張工法)【ｸﾚﾄﾞ/INAX】 誘導・注意喚起用磁器質300角タイル張り(ﾓﾙﾀﾙ下地)	床同材 H=100～75	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板6.0t張り(FK1.0)(ﾗｲﾝ基材・接着工法) 【ｾﾗｱｰﾄﾗｲﾝﾌﾞﾗｲﾄ/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ】 (ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ塗装品)(平目地:ｱﾙﾐ製専用6T型ｼﾞｮｲﾅｰ，出隅入隅:ｱﾙﾐ製R型ｼﾞｮｲﾅｰ) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t(ﾘﾌﾞ調)(通用口は，9.0t(ﾌﾗｯﾄ)) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	通用口(外部側):ﾃﾝｷｰ操作器(別図「金属製建具(1)」AD-1参照)
	エントランス (自販機部はCH=2,150)	2,700 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 誘導・注意喚起用300角ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ7.0t張り(TT) (周囲床材と同ﾚﾍﾞﾙ仕上)	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板6.0t張り(FK1.0)(ﾗｲﾝ基材・接着工法) 【ｾﾗｱｰﾄﾗｲﾝﾌﾞﾗｲﾄ/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ】 (ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ塗装品)(平目地:ｱﾙﾐ製専用6T型ｼﾞｮｲﾅｰ，出隅入隅:ｱﾙﾐ製R型ｼﾞｮｲﾅｰ) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法,LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t(ﾘﾌﾞ調) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り 自販機部:化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t張り	塩ﾋﾞ製(底目地) 塩ﾋﾞ製出隅材(自販機部)	点字触知図案内板(別図「家具類詳細図(1)」K-4参照)
	掃除具入(ＳＫ)	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	EP-G塗 +硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法, LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t張り	塩ﾋﾞ製(突付)	枕棚(別図「家具類詳細図(2)」K-6参照)
	展示室	2,700 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り3.0t*450*450(FT) 【ﾛｲﾔﾙｽﾄｰﾝ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地12.0t	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	EP-G塗 +有孔ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ5.0t +胴縁ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ5.0t加工 +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法, /LGS地:65形 /ALC地:LGS片壁下地材-45*30*0.5@303(万能ﾊﾝｶﾞｰ補強) 【/SATOCK】	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*265(内法W1,510*H2,690) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W 飾り棚:天板-杉集成材30t-CL塗，腰(壁同様/LGS地),2通側腰内部(採水口用PS) (+ﾗﾜﾝ5.5t下地)
	大会議室 (中会議室) (小会議室 兼 救急活動研修室) 「化学物質の濃度測定」対象室	2,600 ～2,750 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り3.0t*450*450(FT) 【ﾛｲﾔﾙｽﾄｰﾝ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地12.0t	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	上壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 /LGS地:65形 /ALC地:LGS片壁下地材-45*30*0.5@303(万能ﾊﾝｶﾞｰ補強) 【/SATOCK】 腰壁:杉板13t(本実)縦張り-CL塗り［下地は部分詳細図(2)による］ 見切(上下・枠等取合):杉25t-CL塗 見切(出隅):杉45*45-CL塗	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ)(一部(中会議室)12.0t(ﾘﾌﾞ調)) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	幕板(天井):米栂30ｔ*H150 +SOP塗 (中会議室) ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ:ｱﾙﾐ製-150W*3,000L (中会議室) 電動中型吊りﾊﾟﾄﾝ(吊荷重50kg・L=4.0m)・下地補強・ｽﾁｰﾙBOX(別図「部分詳細図(3)参照) 腰棚(別図「家具類詳細図(1)」K-3参照) (小会議室)
	映像用ラック入	2,500 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	
	会議室倉庫 兼教材倉庫	2,600 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	
	階段下倉庫	2,500 ～1,520 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り (段裏共)	塩ﾋﾞ製(突付) 塩ﾋﾞ製出隅材(段ｽﾗﾌﾞ下側出隅)	木製造付棚(別図「家具類詳細図(1)」K-5参照)
	湯沸室	2,500 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	床材立上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 【ﾌﾞﾁﾓｰﾙ/東リ】	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 流し台廻:VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品3.0t張り(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ，見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾞﾚﾐｱｰﾄKｼﾘｰｽﾞ/大建工業】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 流し台(1500),ｶﾞｽ台(BG付・600)，吊り戸棚(1200+300) 【木製ｷｯﾁﾝｾｯﾄP型/ﾀｶﾗ】 水切り棚(SUS製・1200・1段) IHｺﾝﾛ(2口，据置型，単相200V品) 【CS-G29CS20A/三菱】
	男子ＷＣ	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 小便器前:汚垂用ﾀｲﾙ13t(施釉)張り 【ｾﾗﾐｯｸｽﾃｯﾌﾟ ﾃﾞｯｷﾀｲﾌﾟ/INAX】	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 塩ﾋﾞ製20R面木 (入隅下地・床材役物)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ，出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(小便器前:構造用合板12t下地) 【ｾﾗｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W880*H2,000) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	女子ＷＣ	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 塩ﾋﾞ製20R面木 (入隅下地・床材役物)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ，出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ｾﾗｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D・450D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W900*H2,000) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	多機能ＷＣ	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	床材巻上 H=150 天端塩ﾋﾞ製見切 塩ﾋﾞ製20R面木 (入隅下地・床材役物)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ，出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ｾﾗｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	(衛生機器,手摺,鏡,ﾗｲﾆﾝｸﾞ:別途M設備工事ﾄｲﾚﾊﾞｯｸ)
	水防倉庫	-15	ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打15t)金ごて仕上(目地切)	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 20t,H=100 (造付棚部:UN20t(RC壁),CON立上打放(ALC下部))	EP塗+普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t(V目地突付)(展開C・D面)/梁型・柱型共 (造付棚内部は，硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ20tあらわし) ALC100tあらわし(展開A・B面)	硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ30t(ﾉﾝﾌﾛﾝ品)あらわし(ｽﾗﾌﾞ下) /ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地		木製造付棚(別図「家具類詳細図」K-1,2参照)
	消防車輌庫	3,300 ～3,400 / -70 ～-170	ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打・勾配1/100)金ごて仕上(目地切)	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 20t，H=155～255 (展開B:CON地)(展開A,C,D:ﾗｽ地)	EP-G塗 +ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ8.0t(目透し)(壁・柱型) /RC地・ALC地:LGS片壁下地材-45*30*0.5@303(万能ﾊﾝｶﾞｰ補強)(展開A・B・D面) /ALC地:LGS65下地(展開C面) 【/SATOCK】	EP塗 +ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ5.0ｔ(目透し) ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20ｔ)打放し(梁型)	塩ﾋﾞ製(突付)	
2階	ホール	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 誘導・注意喚起用300角ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ7.0t張り(TT) (周囲床材と同ﾚﾍﾞﾙ仕上)	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板6.0t張り(FK0.8) 【ｽﾃﾝﾄﾞ＃400/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ】 (ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗装品)(平目地:ｱﾙﾐ製専用6T型ｼﾞｮｲﾅｰ，出隅入隅ｼﾞｮｲﾅｰ:ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾅｰ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法, /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t(ﾘﾌﾞ調) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	事務室出入口:ﾃﾝｷｰ操作器(別図「金属製建具(3)」LSD-6参照)
	物入	2,500 / ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	EP塗 ＋普通硬質石膏ボード12.5ｔ下地(V目地突付) ／LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	枕棚・中棚(別図「家具類詳細図(2)」K-12参照)
	消防局事務室・廊下 「化学物質の濃度測定」対象室	2,500 2,600 3,000 / ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H55)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /廊下部分,周囲梁天端:SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り /梁型底面共 下ﾘ壁(梁型側面共):ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t+LGS下地	塩ﾋﾞ製(底目地) 塩ﾋﾞ製出隅材	
	湯沸室	2,500 / ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法(柱型) /LGS地:65形 流し台廻:VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品3.0t張り(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ，見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾞﾚﾐｱｰﾄK/大建工業】	化粧石膏ボード9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 流し台(1500),ｶﾞｽ台(BG付・600)，吊り戸棚(1200+300) 【木製ｷｯﾁﾝｾｯﾄP型/ﾀｶﾗ】 水切り棚(SUS製・1200・1段) (IHｺﾝﾛ(2口，据置型，単相200V品)：別途備品工事)

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面No.
	H25．2．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689	１級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 １級建築士 第325872号 竹中誠 製図 １級建築士 第 号	防災センター新築工事（建築主体） 内部仕上表(1)		A－15 / 84 枚の内

内部仕上表（２）

	室名		床	巾木	腰壁・壁・柱型 (RC地は,硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ面も含む。)	天井 ・下地は,特記無き限りLGS19型天井下地組。	廻縁	備考 ・下枠,吝摺は,SUS304(HL)1.5t*40Wとし, 位置は「平面詳細図」による。
2階	会議室	2,500 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地9.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	応接相談室	2,500 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地9.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	印刷室	2,500 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H55)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /周囲梁天端:SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	局長室	2,500 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H55)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /周囲梁天端:SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	(壁材) H=200(目地)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t(木目調・指紋ﾚｽ品)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ, 出隅:専用化粧R出隅材) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 【ｾﾌｰﾙｾﾙｻｽ/ｱｲｶ工業㈱】 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t(ﾘﾌﾞ調) +ﾎﾞｰﾀﾞｰ:9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	更衣室（男）	2,500 ±0	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ7.0t敷き(ﾗﾊﾞｰ付) /SLﾓﾙﾀﾙ下地8.0t 踏込:廊下床材と同材(下地共)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	床見切:SUS304(HL)1.5t*W40 ｶｰﾃﾝW1, 400*H2, 350(防炎・ｳｫｯｼｬﾌﾞﾙ・上部ﾈｯﾄ品) 【ｸﾘﾆｶﾙⅡ-L/ｻﾝｹﾞﾂ】 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S):SUS製, 天井直付, L=1450
	更衣室（女）	2,500 ±0	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ7.0t敷き(ﾗﾊﾞｰ付) /SLﾓﾙﾀﾙ下地8.0t 踏込:廊下床材と同材(下地共)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	床見切:SUS304(HL)1.5t*W40 ｶｰﾃﾝW1, 150*H2, 350(防炎・ｳｫｯｼｬﾌﾞﾙ・上部ﾈｯﾄ品) 【ｸﾘﾆｶﾙⅡ-L/ｻﾝｹﾞﾂ】 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S):SUS製, 天井直付, L=1200
	男子ＷＣ	2,500 ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 小便器前:汚垂用ﾀｲﾙ13t(施釉)張り 【ｷｬﾗﾐｯｸｽﾃｯﾌﾟ ﾃﾞｯｷﾀｲﾌﾟ/INAX】	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 塩ﾋﾞ製20R面木 (入隅下地・床材役物)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ, 出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(小便器前:構造用合板12t下地) 【ｾﾌｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D・320D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W860*H2,000) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	女子ＷＣ	2,500 ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 塩ﾋﾞ製20R面木 (入隅下地・床材役物)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ, 出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ｾﾌｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D・250D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W860*H2,490) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,手摺,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	防火衣ロッカー室	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	木製造付棚(別図「家具類詳細図(3)」K-13参照)
	書庫	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	
	災害対策室（市）	2,600 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 (ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ全面接着工法) /SLﾓﾙﾀﾙ下地9.0t	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	上壁:EP-G塗 腰壁:杉板13t(本実)縦張り-CL塗り +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 [下地は部分詳細図(2)による] /RC地:GL工法 見切(上下・枠等取合):杉25t-CL塗 /LGS地:65形 見切(出隅):杉45*45-CL塗	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	情報通信室（市）	2,500 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 (ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ全面接着工法) /SLﾓﾙﾀﾙ下地9.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
3階	ホール	2,500 ±0	特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 誘導・注意喚起用300角ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ7.0t張り(TT) (周囲床材と同ﾚﾍﾞﾙ仕上)	SUS304(HL) 1.2t*20*75H	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板6.0t張り(FK0.8) 【ｽﾃﾝﾄﾞ＃400/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ】 (ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗装品)(平目地:ｱﾙﾐ製専用6T型ｼﾞｮｲﾅｰ, 出隅入隅ｼﾞｮｲﾅｰ:ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾅｰ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法, /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t(ﾘﾌﾞ調) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	廊下出入口:ﾃﾝｷｰ操作器(別図「金属製建具(3)」LSD-8参照) 天井ﾙｰﾊﾞｰ:ｱﾙﾐ製25H*510□(25目),ｱﾙﾐ製枠共 (ﾙｰﾊﾞｰ内壁:EP塗+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地+LGS地/仕上有効540×540)
	廊下	2,500 ±0	防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(HS) 【NSﾌﾗｯﾃｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地 踏込:ホール床材と同材(下地共)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	床見切:SUS304(HL)1.5t*40W 下足入(×2)(別図「家具類詳細図(2)」K-8,9参照) 天井ﾙｰﾊﾞｰ:ｱﾙﾐ製25H*810□(25目),ｱﾙﾐ製枠共 (ﾙｰﾊﾞｰ内壁:EP塗+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地+LGS地/仕上有効840×840)
	物入	2,500 ±0	防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(HS) 【NSﾌﾗｯﾃｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	枕棚・中棚(別図「家具類詳細図(3)」K-14参照)
	ＷＣ用物入	2,500 ±0	防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(HS) 【NSﾌﾗｯﾃｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	枕棚(別図「家具類詳細図(3)」K-15参照)
	災害対策室	2,600 ・3,100 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 (ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ全面接着工法) /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H100)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /周囲梁天端:SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り 下り壁(梁型側面共):EP塗 +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t+LGS下地	塩ﾋﾞ製(底目地) 塩ﾋﾞ製出隅材	幕板(天井面):米栂60t*100W-SOP塗 (機器更新時壁位置)
	指令室 「化学物質の濃度測定」対象室	2,600 ・3,100 ±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 (ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ全面接着工法) /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H100)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /周囲梁天端:SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り 下り壁(梁型側面共):EP塗 +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t+LGS下地	塩ﾋﾞ製(底目地) 塩ﾋﾞ製出隅材	幕板(天井面):米栂60t*100W-SOP塗 (機器更新時壁位置)
	バックヤード	3,100 ±0	(仕上・下地共, 同上)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	
	機械室	±0	置敷ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ張り6.0t*500*500 【GA-400S/東リ】 (ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ全面接着工法) /樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(H100)3,000N品+SLﾓﾙﾀﾙ10t下地 /周囲ｽﾗﾌﾞ面(段ｽﾗﾌﾞ):SLﾓﾙﾀﾙ9.0t下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付)(壁・柱型・梁型共) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ(ﾉﾝﾌﾛﾝ品)35tあらわし(ｽﾗﾌﾞ下) /ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地		

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士	名称	SCALE	図面No.
	H25．2． ．．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858(24)6688 FAX 0858(24)6689	1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第 号	防災センター新築工事（建築主体） 内部仕上表(2)		A－16／84枚の内

内部仕上表（３）

	室名		床	巾木	腰壁・壁・柱型 (RC地は,硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ面も含む。)	天井 ・下地は,特記無き限りLGS19型天井下地組。	廻縁	備考 ・下枠,吝摺は,SUS304(HL)1.5t*40Wとし,位置は「平面詳細図」による。
3階	仮眠室１～５	2,500 ±0	ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ敷き6.0t(ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法) 【ｸﾞﾚｰｽ/東リ】 (造付ﾍﾞｯﾄﾞ部除く) /SLﾓﾙﾀﾙ9.0下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	造付ﾍﾞｯﾄﾞ(下部収納付)(別図「家具類詳細図(2)」K-7参照)
	食堂・休憩室	2,500 2,365 ±0・ +135(畳)	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り3.0t*450*450(FT) 【ﾛｲﾔﾙｽﾄｰﾝ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地12.0t 一部,ｽﾀｲﾛ畳敷き55t /ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地材(和室用・H=93)下地	壁材 (目地・H=100位置) 畳寄せ (20*55H・米栂・上小)	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t(木目調・指紋ﾚｽ品)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ, 出隅:専用化粧R出隅材) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ｾﾗｰﾙｾﾙﾃｽ/ｱｲｶ工業㈱】 流し廻:ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t張り(抽象柄)(平目地・入隅専用ｼﾘｺｰﾝ, 出隅:専用化粧R出隅材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ｾﾗｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業㈱】 /RC地:GL工法 /LGS地:65形	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り	塩ﾋﾞ製(底目地)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 上框:米栂(上小)90*60H-CL塗 流し台(1500),ｶﾞｽ台(BG付・600),吊り戸棚(1200+300) 【木製ｷｯﾁﾝｾｯﾄP型/ﾀｶﾗ】 水切り棚(SUS製・1200・1段) (IHｺﾝﾛ(2口,据置型,単相200V品):別途備品工事)
	男子ＷＣ	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(FS)(防滑・防汚・耐屎汚染)【NSﾄﾜﾚ/東リ】 ／SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0ｔ 小便器前:汚垂用タイル13ｔ(施釉)張り 【ｷﾗﾐｯｸｽﾃｯﾌﾟ ﾃﾞｯｷﾀｲﾌﾟ/INAX】	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 【ﾌﾟﾁﾓｰﾙ/東リ】	VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品6.0t張り(H1,820)(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ, 見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 (小便器前:構造用合板12t下地) 【ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄｻﾆﾀﾘｰ/大建工業】 上部:EP-G塗 +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W800*H2,000) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	女子ＷＣ	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(FS)(防滑・防汚・耐屎汚染)【NSﾄﾜﾚ/東リ】 ／SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0ｔ	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 【ﾌﾟﾁﾓｰﾙ/東リ】	VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品6.0t張り(H1,820)(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ, 見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄｻﾆﾀﾘｰ/大建工業】 上部:EP-G塗 +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W800*H2,000) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W (衛生機器,鏡,ｶｳﾝﾀｰ:別途M設備工事)
	男子シャワー室	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.8t(HS) 【NSﾍﾞﾙﾌｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地12.2t 踏込:廊下床と同材(下地共)	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 【ﾌﾟﾁﾓｰﾙ/東リ】	VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品6.0t張り(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ, 見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄｻﾆﾀﾘｰ/大建工業】 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W, 脱衣棚(「家具類詳細図(2)」参照) ｶｰﾃﾝW950*H2,350(防炎・ｳｫｯｼｬﾌﾞﾙ・上部ﾈｯﾄ品)【ｸﾘﾆｶﾙⅡ-L/ｻﾝｹﾞﾂ】 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S):SUS製,天井直付,L=1000
	女子シャワー室	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.8t(HS) 【NSﾍﾞﾙﾌｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地12.2t 踏込:廊下床と同材(下地共)	床材巻上 H=75 天端塩ﾋﾞ製見切 【ﾌﾟﾁﾓｰﾙ/東リ】	VSﾎﾞｰﾄﾞ鏡面仕上品6.0t張り(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ, 見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄｻﾆﾀﾘｰ/大建工業】 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 床見切:SUS304(HL)1.5t*40W, 脱衣棚(「家具類詳細図(2)」参照) ｶｰﾃﾝW950*H2,350(防炎・ｳｫｯｼｬﾌﾞﾙ・上部ﾈｯﾄ品)【ｸﾘﾆｶﾙⅡ-L/ｻﾝｹﾞﾂ】 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S):SUS製,天井直付,L=1000
	洗濯室（男女）	2,500 ±0	防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(HS) 【NSﾌﾗｯﾃｨ/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0下地	壁同材	VSボード鏡面仕上品3.0ｔ張り(平目地・入隅:専用ｼﾘｺｰﾝ, 見切・出隅:専用ｱﾙﾐ製見切材) +耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地 【ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄK/大建工業】 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台:SUS304(HL)-1.2t*25*150D(ﾗｲﾆﾝｸﾞLGS65地) 三方枠:SUS304(HL)1.2t*25*110(内法W800*H2,000) 収納棚(男のみ)(別図「家具類詳細図(2)」K-10参照)
	物置き	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	
	喫煙室	2,500 ±0	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り2.0t*303*303(KT) 【ﾏﾁｺV/東リ】 /SLﾓﾙﾀﾙ下地13.0t	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ張り	塩ﾋﾞ製(突付)	
PH	Ｐ Ｈ ・ (3FL～PHFL)階段		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り2.0t(FS) 【ﾌﾛｱﾘｭｰﾑﾌﾞﾚｰﾝ/東リ】 /ﾓﾙﾀﾙ28.0t下地 (段部,踊り場共)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75 ﾀﾓﾗ巾木	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形 (柱型,5～6通梁型共)	硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ35t(ﾉﾝﾌﾛﾝ品)あらわし(ｽﾗﾌﾞ下・梁型) /ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地 段裏:内装薄塗材E吹付(砂壁状) /下地調整(目違いｻﾝﾀﾞｰ掛け) +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地		壁付手摺:樹脂製(ｱﾙﾐ芯材)(木目調)φ34(1段), ｱﾙﾐﾌﾞﾗｹｯﾄ 【ﾈｵｳｯﾄﾞO-34M/ﾅｶ工業】 踊場部手摺支柱:SUS304(HL)(別図「部分詳細図(3)」参照) 腰壁笠木:杉集成材30t*200-CL塗, 踊場梁面台(上下):杉集成材30t*450-CL塗 段鼻:SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ35W(ｺﾞﾑ入・ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ)
共通	階段室 (1FL～3FL)		特殊防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0t張り 【VM-20/ABC商会】 /SLﾓﾙﾀﾙ13.0t下地(1FL・2FL・3FL床部分) /ﾓﾙﾀﾙ28.0t下地(段部・踊場) 塩ﾋﾞ製20R面木(廻込入隅部)(床材役物) 誘導・注意喚起用300角ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ7.0t張り(TT) (周囲床材と同ﾚﾍﾞﾙ仕上)	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75 ﾀﾓﾗ巾木	EP-G塗 +普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t下地(V目地突付) /RC地:GL工法 /LGS地:65形 (下り壁部共)	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板9.0t(ﾌﾗｯﾄ) +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t捨張り (1FL・2FL・3FL部分) 段裏:内装薄塗材E吹付(砂壁状) /下地調整(目違いｻﾝﾀﾞｰ掛け) +ｺﾝｸﾘｰﾄ(増打20t)打放し下地	塩ﾋﾞ製(突付) 塩ﾋﾞ製出隅材 塩ﾋﾞ製壁天端見切 (段裏/壁天端取合) 木見切(杉20*40-CL塗) (段裏/壁下端取合)	壁付手摺:樹脂製(ｱﾙﾐ芯材)(木目調)φ34(2段), ｱﾙﾐﾌﾞﾗｹｯﾄ 【ﾈｵｳｯﾄﾞO-34M/ﾅｶ工業】 踊場部手摺支柱:SUS304(HL)(別図「部分詳細図(3)」参照) 腰壁笠木:杉集成材30t*200-CL塗, 踊場梁面台(上下):杉集成材30t*450-CL塗 段鼻:SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ35W(ｺﾞﾑ入・ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ) 踊場床材端部押え:SUS製W25
	Ｅ Ｖ		9人乗り(詳細はEV詳細図による。) ﾋﾟｯﾄ床,立上:塗膜防水(背面防水用) 【ｴﾎﾞｼﾐｯｸｽ7000 EM-2工法/ｴﾚﾎﾝ】 /ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて(床)・打放し(立上)下地					

■特記事項

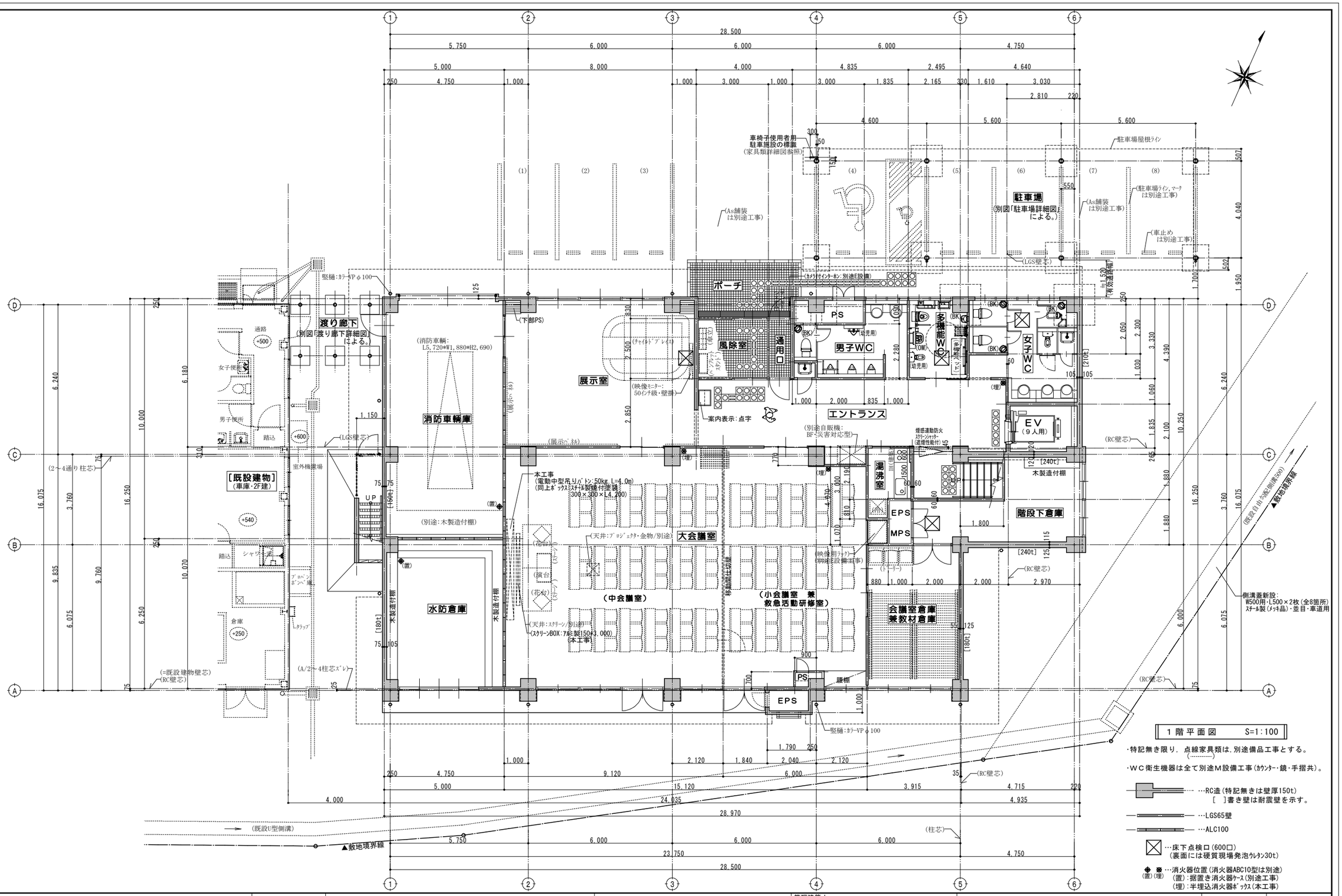
- ・【 】書き(商品名・商標番号)は全て参考品とし,同等品以上の使用とする。
  (同等品の使用は監督員と協議し承諾を得る事。)
- ・内装仕上げ部分については，全てシックハウス規制対象外の建築材料を使用する事。
  天井裏等の措置(天井裏,間仕切壁,外壁側内壁,収納,造付家具等)についても同様とする。
- ・各階の断熱,防露工事は，別図「断熱材伏図」によること。
- ・各階のＰＳ内は，躯体(RC),下地材(LGS・断熱材等)あらわしとする。
  (配管等床貫通部の貫通処理は別途設備工事による。)
- ・内部片引き戸の戸袋部下地は，LGS-□45*40*0.4t-@303とする。(平面詳細図参照)
- ・構造用合板は「特類・2級品」，ﾗﾜﾝ合板は「1類」とする。
- ・床下ﾋﾟｯﾄの通気,排水措置は別途M設備工事によるが,ﾋﾟｯﾄ内地中梁(外周梁は除く)の通気孔(VPφ100)設置は本工事にて行う。
- ・1階ALC工事:間仕切ﾊﾟﾈﾙ100t・縦張り・受ｱﾝｸﾞﾙ(L-50*50*6)・定規ｱﾝｸﾞﾙ(L-65*65*6)
  開口補強ｱﾝｸﾞﾙ(横L-50*50*6,縦L-65*65*6) (ｱﾝｸﾞﾙ材は錆止塗装品)
- ・床下点検口：600×600・ｱﾙﾐｷｬｽﾁｰﾙ製・SUS目地・把手ﾛｯｸ式・ﾓﾙﾀﾙ充填用 【MAES/ｶﾈｿｳ】
  位置は「1階平面図」による。裏面には硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ30t。
- ・天井点検口：ｱﾙﾐ製とし,寸法・位置は「天井伏図」による。
- ・ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ：ｱﾙﾐ製とし,特記無きは「金属製建具表(AL-BB)」・「天井伏図」による。
  ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞは別途工事とし，図示にあるｶｰﾃﾝ(ﾚｰﾙ共)は本工事とする。
- ・消火器：消火器位置は「各階平面図」に示す。
  消火器BOX(半埋込・文字付・ﾌｯｸﾍﾞﾙ付)【KS-FEH201,KS-FE450/NASTA】(本工事)
  消火器ｹｰｽ(据置・SUS製・文字付・正面隠蔽仕様)【KS-FEF01S/NASTA】(別途工事)
  消火器(ABC10型)(別途工事)
- ・室名札,ﾋﾟｸﾄｻｲﾝの位置・仕様は，別図「家具類KeyPlan」・「家具類詳細図(3)」に示す。
- ・樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ参考品番【ﾏｼﾞｯｸﾌﾛｱ3000N/三洋工業㈱】 (2階:H55(仕上厚込)品,3階:H100(仕上厚込)品)
- ・杉(集成材共)は県産材とし，腰壁・額縁・見切材は「上小無節」とする。

◆認定番号◆ （ ） 記号は略記号

(PB) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t	「不 燃 NM-8619」	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(FK1.0)6.0t 「ｾﾗｰﾙﾃｨﾝﾌﾟﾗｲﾄ/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ」	「不 燃 NM-8577」
(PB) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t	「準不燃 QM-9828」	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(FK0.8)6.0t 「ｽﾃﾝﾚｽ ﾍｱ400/A&Aﾏﾃﾘｱﾙ」	「不 燃 NM-8577」
(C.PB) 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t	「準不燃 QM-9826」	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t(抽象柄) 「ｾﾗｰﾙ抽象/ｱｲｶ工業」	「不 燃 NM-2183」
(化粧PB) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t	「不 燃 NM-1864」	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板3.0t(木目調・指紋ﾚｽ) 「ｾﾗｰﾙｾﾙﾃｽ/ｱｲｶ工業」	「不 燃 NM-2183」
(SH.PB) 普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5t	「不 燃 NM-9645」	VSﾎﾞｰﾄﾞ3.0t(鏡面仕上) 「ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄK/大建工業」	「不 燃 NM-2576」
(RW) ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板12.0t,9.0t	「不 燃 NM-8599」	VSﾎﾞｰﾄﾞ6.0t(鏡面仕上) 「ﾌﾟﾚﾐｱｰﾄｻﾆﾀﾘｰ/大建工業」	「不 燃 NM-1386」
(FK) けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	「不 燃 NM-2773」	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+不燃下地 「不燃NM-0326」他,「準不燃QM-9411」他	
(FB)（有孔)ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ	「不 燃 NM-8576」	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+準不燃下地	「準不燃 QM-9411」他
(UN) 硬質現場発泡ｳﾚﾀﾝ(ﾉﾝﾌﾛﾝ品)	(VT) …ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	・防埃壁に係る室の壁については「不燃」とすること。	
(PFP) 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	(VS) …ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	・ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ参考品番【FINE1000/ｻﾝｹﾞﾂ】程度	
(OA) 樹脂製ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ	(CT) …ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ	(EP):合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ 「不燃 NM-8585」	
	(SLm) …ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞﾓﾙﾀﾙ	(EP-G):つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	

シャワーユニット【SPB-0812SBEL/LIXIL】
- ・コーナー棚(2段)
- ・ｽﾘﾑ照明(蛍光ﾗﾝﾌﾟ)(1灯)
- ・ﾜｰﾊﾝﾄﾞﾙ一時止水壁付水栓
- ・ｽﾌﾟﾚｰｼｬﾜｰ, ｼｬﾜｰﾌｯｸ
- ・折戸(W800)
- ・ﾄﾗｯﾌﾟ (換気扇は別途M設備)
- ・給水,給湯管(Rc1/2ﾀﾞﾌﾞﾙﾀｰ止)
- ・雑排水管(VP50)

附記	設計年月日	共同企業体名称	代表者	管理建築士 1級建築士 第145757号 藤井泰徳 製図 1級建築士 第325872号 竹中誠 製図 1級建築士 第 号	名称 防災センター新築工事（建築主体）	SCALE	図面No.
	H25．2． ．．	フジイ・ミュー・小谷・特定委託業務共同企業体	㈲フジイ総合設計事務所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巌城町１４３番地 TEL 0858 (24) 6688 FAX 0858 (24) 6689		内部仕上表(3)		A－17／84枚の内


渡り廊下
（別図「渡り廊下詳細図」による。）
ポーチ
風除室
展示室
通用口
PS
男子WC
多機能WC
女子WC
EV
（9人用）
エントランス
駐車場
（別図「駐車場詳細図」による。）
車椅子使用者用
駐車施設の標識
（家具類詳細図参照）
駐車場屋根ライン
（As舗装
は別途工事）
（駐車場ライン、マーク
は別途工事）
（車止め
は別途工事）
（LGS壁芯）
（RC壁芯）
竪樋：カラーVP φ100
（カメラ付インターホン：別途E設備）
（下部PS）
（消防車輌：
L5,720*W1,880*H2,690）
消防車輌庫
（展示ベンチ）
（映像モニター：
50インチ級・壁掛）
案内表示：点字
（別途自販機：
BF・災害対応型）
煙感連動防火
スクリーンシャッター
（遮煙性能付）
湯沸室
EPS
MPS
階段下倉庫
木製造付棚
［240t］
［180t］
［既設建物］
（車庫・2F建）
（2～4通り柱芯）
（=既設建物壁芯）
（RC壁芯）
（A/2～4柱芯ズレ）
（既設U型側溝）
▲敷地境界線
（柱芯）
（別途：木製造付棚）
本工事
（電動中型吊りパネル：50kg, L=4.0m）
（同上ボックス：スチール製接付塗装
300×300×4,200）
大会議室
（中会議室）
（小会議室　兼
救急活動研修室）
移動間仕切壁
水防倉庫
会議室倉庫
兼教材倉庫
（天井：プロジェクタ・金物/別途）
（演台）
（花台）
（ステージ）
（天井：スクリーン/別途）
（スクリーンBOX：アルミ製1500×3,000）
本工事
（映像用ラック）
（別途E設備工事）
（トーテン）
腰棚
（既設U型側溝）
（RC壁芯）
側溝蓋新設：
W500用・L500×2枚（全8箇所）
スチール製（メッキ品）・並目・車道用
（既設目地：大型側溝W500）
敷地境界線
通路
女子便所
男子便所
踏込
倉庫
シャワー室
室外機置場
（展示ベンチ）
（置）
（埋）
（OM）
（幼児用）
（BK）
（傾斜）
（段差）
（ハンドル
スタンド）
（テーブル
スタンド）
（ハンドル
スタンド）
（エコ
スタンド）
（傾斜）
（段差）
（幼児用）
（埋）
［240t］
（RC壁芯）
（RC壁芯）
（RC壁芯）